

1. 改訂 河内長野市公共交通のあり方・第2期 河内長野市地域公共交通網形成計画【概要版】

前計画期に策定した「改訂 河内長野市公共交通のあり方・第2期 河内長野市地域公共交通網形成計画」の概要版を以下に示します。公共交通のあり方については今回の計画でも踏襲しています。

河内長野市地域公共交通計画【概要版】

■改訂 河内長野市公共交通のあり方
■第2期 河内長野市地域公共交通網形成計画

“将来も安心して生活でき、住み続けられるまちを支える公共交通”を目指して

◆計画策定の目的

河内長野市公共交通のあり方（基本方針）・・・平成20年度～
河内長野市地域公共交通網形成計画（実施計画）・・・平成27年度～平成29年度

改訂
目的：持続可能な公共交通の確保

河内長野市地域公共交通計画

◆計画の区域と期間

(1) 計画区域
本計画では、市全域を対象とします。

(2) 計画の期間
本計画は、今後10年の基本方針となる「改訂 河内長野市公共交通のあり方」と、今後5年の具体的な取り組みを定めた「第2期 河内長野市地域公共交通網形成計画」の2つで構成しています。

計画期	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
策定計画	公共交通のあり方（基本方針）			改訂 公共交通のあり方（基本方針）	
	地域公共交通総合連携計画	第2期地域公共交通総合連携計画	地域公共交通網形成計画	第2期地域公共交通網形成計画	次期計画（改めて策定）
計画期間	平成21～23年度	平成24～26年度	平成27～29年度	平成30年度～平成39年度	
				平成30年度～平成34年度	平成35年度～平成39年度

◆上位・関連計画と公共交通の位置付け

【上位計画】
①河内長野市第5次総合計画
②河内長野市都市計画マスタープラン
③河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略

【関連法律】
●交通政策基本法の制定
●改正地域公共交通活性化再生法の施行

【⑤地域連携サポートプラン協定】

【地域公共交通計画】＝本計画
■基本方針（10年）：改訂 河内長野市公共交通のあり方（平成30年度～平成39年度）
■実施計画（5年）：第2期 河内長野市地域公共交通網形成計画（平成30年度～平成34年度）

【④河内長野市立地適正化計画】
（現在策定中）
集約連携都市の実現のため、具体的な居住や都市機能の誘導方針等を示すもの

連携

本計画で目指すべき公共交通の将来の姿

将来も安心して生活でき、住み続けられるまちを支える公共交通

◆公共交通をとりまく課題、基本方針（改訂 河内長野市公共交通のあり方）

【公共交通をとりまく課題】

分類	現状・問題点	課題
都市構造・特性	・鉄道駅を中心に住宅地が広がり、山間部の密集度は低密 ・山間地を切り拓き造成された開発地では坂道が多く、地域が広い ・生活に必要な都市機能がそろっている住宅地は少ない	・集約型都市構造の実現 ・公共交通の維持・確保
上位・関連計画	・総合計画、都市計画マスタープランとも、目指す都市構造は“集約連携都市（ネットワーク型コンパクトシティ）” ・基本目標の1つで“強い・快適・活力のにぎわいのまち”を目指す ・集約連携都市実現のため、魅力ある拠点の確立と基幹公共交通の維持を目指す	・集約連携都市に資する公共交通の構築 ・外出先や目的の創出（上位・関連計画との密な連携が必要）
人口・高齢化	・総人口は平成12年をピークに減少している一方、高齢者人口は増加傾向 ・高齢化が急速に進行し、大阪府内の市でトップの高齢化率 ・昭和40年代の宅地開発による転入世代の高齢化 ・市内でも特に天見小学校区、南花台小学校区で人口が大きく減少 ・20～30歳の転出率が高い	・人口減少の中での公共交通の維持 ・高齢化に対応した利用しやすい公共交通の構築 ・利便性の向上（定住率や定住意欲の向上）
移動状況	・通勤通学は市内だけでなく、市外も多い ・市外への通勤通学手段は鉄道、自家用車、バスの順で多く、市内は自家用車、徒歩、自転車が多い ・交通手段のうち、鉄道・バスの分担率は減少傾向で、平成22年で鉄道は15.8%、バスは1.9% ・平日よりも休日の外出率が低く、特に高齢者は外出率が低い ・65歳未満は休日の方が平日よりも自動車分担率が高い ・駅へのアクセスはバスの他、自転車も存在している	・利便性の向上（市内・市外への移動） ・公共交通分担率の向上 ・高齢者の外出支援 ・外出先や目的の創出（庁内関係部署との連携）
公共交通の状況	・幹線となる鉄道駅からバス路線が放射状のネットワークで接続し、乗換えをすれば主要なところへ行ける ・公共交通空白・不便地域が存在 ・鉄道、バスの利用者数は減少傾向 ・モックルコミュニティバスの利用者数は3～5年前に比べて低い値に留まっており、休日は平日に比べて利用が少ない ・モックルコミュニティバスは、朝の運行時間や、路線バスとの乗継ダイヤの改善等の要望が増えている ・日野・海澄コミュニティバスの利用者数は減少傾向が続いているが、ここ数年は観光利用により、改善傾向が見られる	・乗り継ぎ負担の軽減 ・地域のニーズに応じた移動手段の確保 ・市民ニーズに対応した改善 ・観光との連携

【課題集約】

全般に共通する課題

・適正な財政負担と負担の軽減
・公共交通利用者数の維持確保
・公共交通の維持・確保
・利用者ニーズ集約（本当に必要なものを効率的、効果的に）

まちづくりやネットワークの維持・充実にすること

高齢化やニーズへの対応にすること

市民意識の醸成や向上にすること

【基本方針】

①まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークの構築
②高齢化の進展や市民ニーズに対応した公共交通の実現
③利用者利便と運行効率を考慮した、市・地域住民・交通事業者等の協働による取り組みの推進

参考-1

◆事業の概要（第2期 河内長野市地域公共交通網形成計画）

★目指すべき将来の姿★

“将来も安心して生活でき、住み続けられるまちを支える公共交通”

目標を達成するために取り組むべき事業について、基本方針別に取り組みを示します。

基本方針	取り組みの方向性	具体的な取り組み
①まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークの構築	①まちづくり、観光等様々な分野との連携	・まちづくり、観光等の分野と連携した公共交通に係る取り組みの推進
	②広域的視点による近隣市や鉄道沿線地域との連携	・周辺市と連携した広域協議による幹線系統の改善
	③人口減少による公共交通の利用者減少を見据えた、地域に応じた移動手段確保の検討	■交通事業者や運輸官庁等からの多様な情報収集 ・相乗りアプリ等を活用した移動手段確保の研究 ・自動運転によるバス運行の社会実験計画案の検討
	④鉄道・バス・乗合タクシー等の様々な公共交通サービスの連携	・乗継ぎ環境（ダイヤ・運賃・バス待合施設等）の改善等による結節点での接続性の向上
②高齢化の進展や市民ニーズに対応した公共交通の実現	⑤高齢者が利用しやすい公共交通環境の整備による外出の支援	・高齢者が利用しやすい運行形態の検討 ・運賃割引制度の検討および高齢者が馴染みやすい情報発信（チラシ、時刻表、バスマップ等） ・ノンステップバスの導入（車両更新時等）
	⑥運転に不安を感じられる方が安心して免許を返納できる交通環境の整備	・公共交通の運賃割引や利用券・企画乗車券等配布の検討
	⑦多様な交通手段の情報収集および福祉分野との連携	・新たな輸送サービスの制度創設に伴う情報収集及び検討
	⑧利用環境向上の取り組みの推進	・バス停新設及びフリー乗降等の利用者利便の向上に資する環境整備の検討・展開
	⑨市民ニーズに対応した公共交通サービスの実現	・移動ニーズに即したモックルコミュニティバスの運行形態の改善 ・移動ニーズに即した日野・滝畑コミュニティバスの運行形態の検討
③利用者利便と運行効率を考慮した、市・地域住民・交通事業者等の協働による取り組みの推進	⑩地域の特性とニーズに応じた運行の検討	■地域のニーズにあった運行形態および運行継続条件の検討 ・モデル的な取り組みの他地域への啓発 ・地域ニーズにあった運行形態の検討 ・運行継続条件の検討 ■公共交通空白・不便地域の実情に合った公共交通の検討
	⑪沿線施設や交通事業者等との連携	・料金施策や利用特典等による利用促進の展開
	⑫需要喚起のための公共交通情報の提供	■公共交通の利用に資する各種情報の作成および発信 ・公共交通マップ、総合時刻表等の作成・配布 ・市広報紙やホームページ、SNS等の多様な媒体の活用 ・路線や乗継、運行状況等に関する情報提供の充実
	⑬市民の積極的な参加を促進する働きかけ	・地域交通への愛着醸成のための仕組みや機会の検討
	⑭社会全体で支える意識の醸成	・市が負担する運行経費のPR ・公共交通の取り組み状況や地域の声の発信
	⑮地域住民や交通事業者等の関係者との協働や連携を推進	■地域住民や交通事業者等との協働や連携のための情報発信や働きかけ、ワークショップ開催等 ・過度な自動車依存からの脱却のためのPRや公共交通の利用呼びかけ ・協働の意識醸成のための勉強会やワークショップ開催 ・公共交通イベントや社会見学等を通したモビリティマネジメントの実施

◆目標（第2期 河内長野市地域公共交通網形成計画）

- ◆公共交通や暮らしやすさの市民満足度の向上
- ◆公共交通利用率・利用者数の維持
- ◆行政負担の軽減（効果的な行政投資の実現）
- ◆市民意識の醸成

◆評価指標と評価の時期（第2期 河内長野市地域公共交通網形成計画）

目標	評価指標	現状	目標値	使用データ	評価の時期
公共交通や暮らしやすさの市民満足度の向上	「バスなどの公共交通サービス」に関する満足度	9.0% （H28年度）	15.1% （H33年度）	市民意識調査	平成34年度
	「高齢者にとっての暮らしやすさ」の満足度（65歳以上で集計）	9.7% （H28年度）	16.0% （H33年度）	市民意識調査	平成34年度
公共交通利用率・利用者数の維持	公共交通利用分担率※（鉄道・バス）	17.7% （H22PT）	20.0% （H32PT）	パーソナルトリップ調査	平成34年頃
	河内長野駅の利用者数	10,343千人／年 （南海H27年度） 2,541千人／年 （近鉄H27年度）	10,500千人／年 （H32年度） 2,600千人／年 （H32年度）	交通事業者提供データ	平成34年度
	バス利用者数	100 （H28年度のバス年間利用者数を100とした場合）	100 （H33年度）	交通事業者提供データ	毎年
	日野・滝畑コミュニティバスの利用者数	81,387人／年 （H28年度）	82,000人／年 （H33年度）	交通事業者提供データ	毎年
	モックルコミュニティバスの利用者数	58,504人／年 （H28年度）	59,000人／年 （H33年度）	交通事業者提供データ	毎年
	くすまの収支率	76.1% （H28年度）	78.6% （H33年度）	交通事業者提供データ	毎年
行政負担の軽減（効果的な行政投資の実現）	モックルコミュニティバス利用者1人あたりの行政負担額	313円 （H28年度）	310円 （H33年度）	交通事業者提供データ	毎年
	くすまの利用者数	31,390人／年 （H28年度）	32,000人／年 （H33年度）	交通事業者提供データ	毎年
市民意識の醸成	「市民同士の連携や市民と行政の協働」に関する満足度	4.3% （H28）	16.0% （H33）	市民意識調査	平成34年度
	モビリティマネジメント※実施回数	0回／年 （H28年度）	1回／年以上 （H33年度）	市保有データ	平成34年度
	市民公募希望者数（交通会議委員）	3人 （H28年度）	6人 （H32年度）	市保有データ	平成34年度

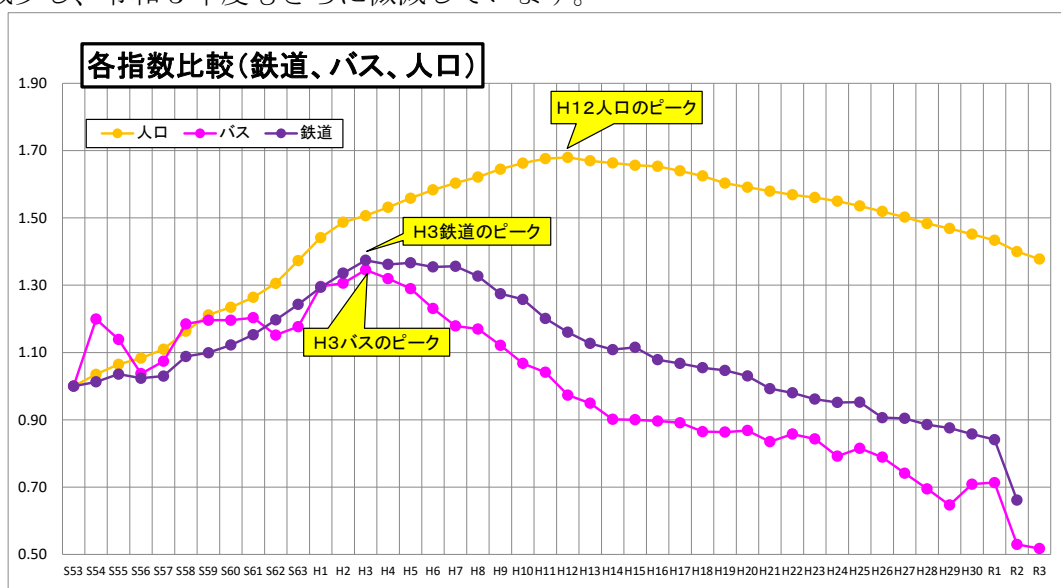
※全体のトリップに対するある交通手段を利用したトリップの割合をその交通手段利用の分担率といいます。また、トリップとは人がある目的を持って、ある地点からある地点へ移動する単位をトリップといい、移動の目的が変わるごとに1つのトリップと数えます。
※モビリティ・マネジメントとは、1人1人のモビリティ（移動）が、社会的にも個人的にも望ましい方向（過度な自動車利用から公共交通等を適切に利用する等）に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした啓発活動です。
（例）平成27年度開催の「交通かんきょう教室」

2. 公共交通の利用状況

2.1 人口動向

① 人口、公共交通利用者数の推移

河内長野市の人口は平成 12 年以降減少しており、鉄道とバスの利用者は平成 3 年以降減少傾向となっています。鉄道は減少し続ける中、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく減少しています。バスは平成 29 年から令和元年にかけては増加していましたが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて減少し、令和 3 年度もさらに微減しています。



※S53年を1とした場合

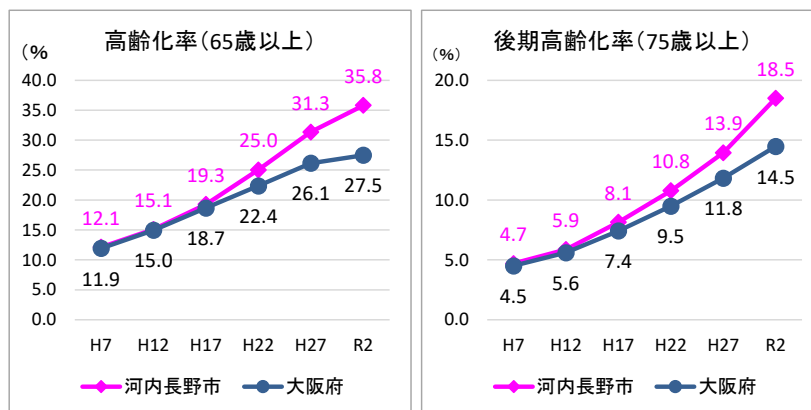
※H7年からコミバス乗車数を合算

資料: 人口、鉄道は河内長野市統計書、バスは南海バス提供

図 2-1 人口、公共交通利用者数の推移

② 高齢化率の推移

高齢化率（65歳以上）、後期高齢化率（75歳以上）とも上昇し続けており、平成 17 年までは大阪府と同程度となっていました。平成 22 年以降は急激に上昇して大阪府を大きく上回っており、特に後期高齢化率は急上昇しています。

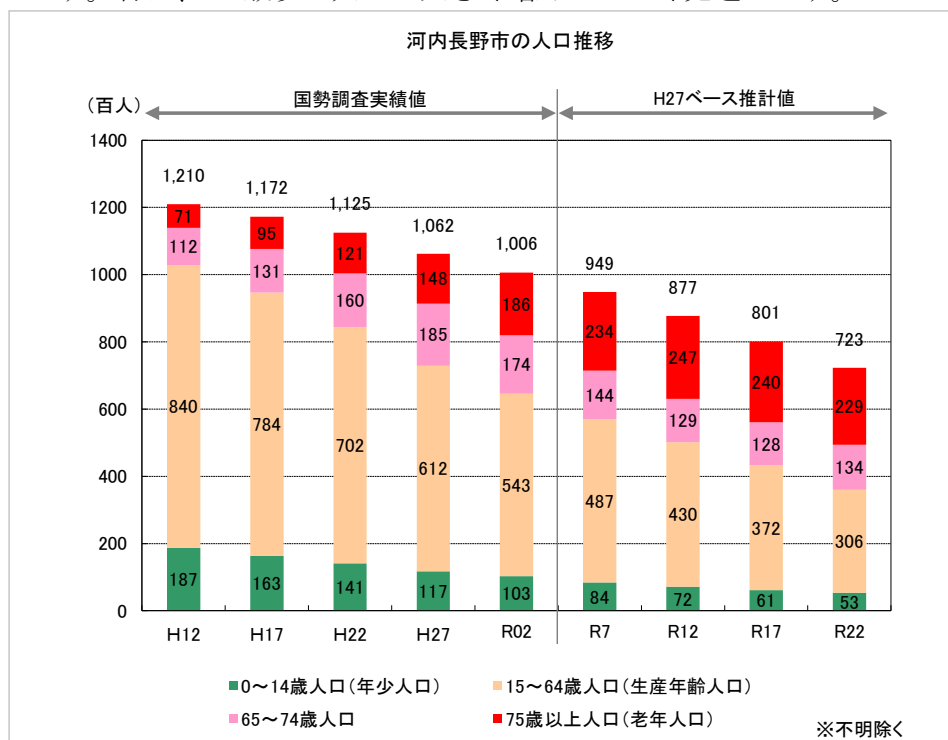


資料: 国勢調査

図 2-2 高齢化率の推移

③ 年齢3区分別人口の推移

これまで総人口は減少する一方で老年人口は増加しており、この傾向は将来も続く見通しです。特に、75歳以上人口が大きく増加していく見通しです。



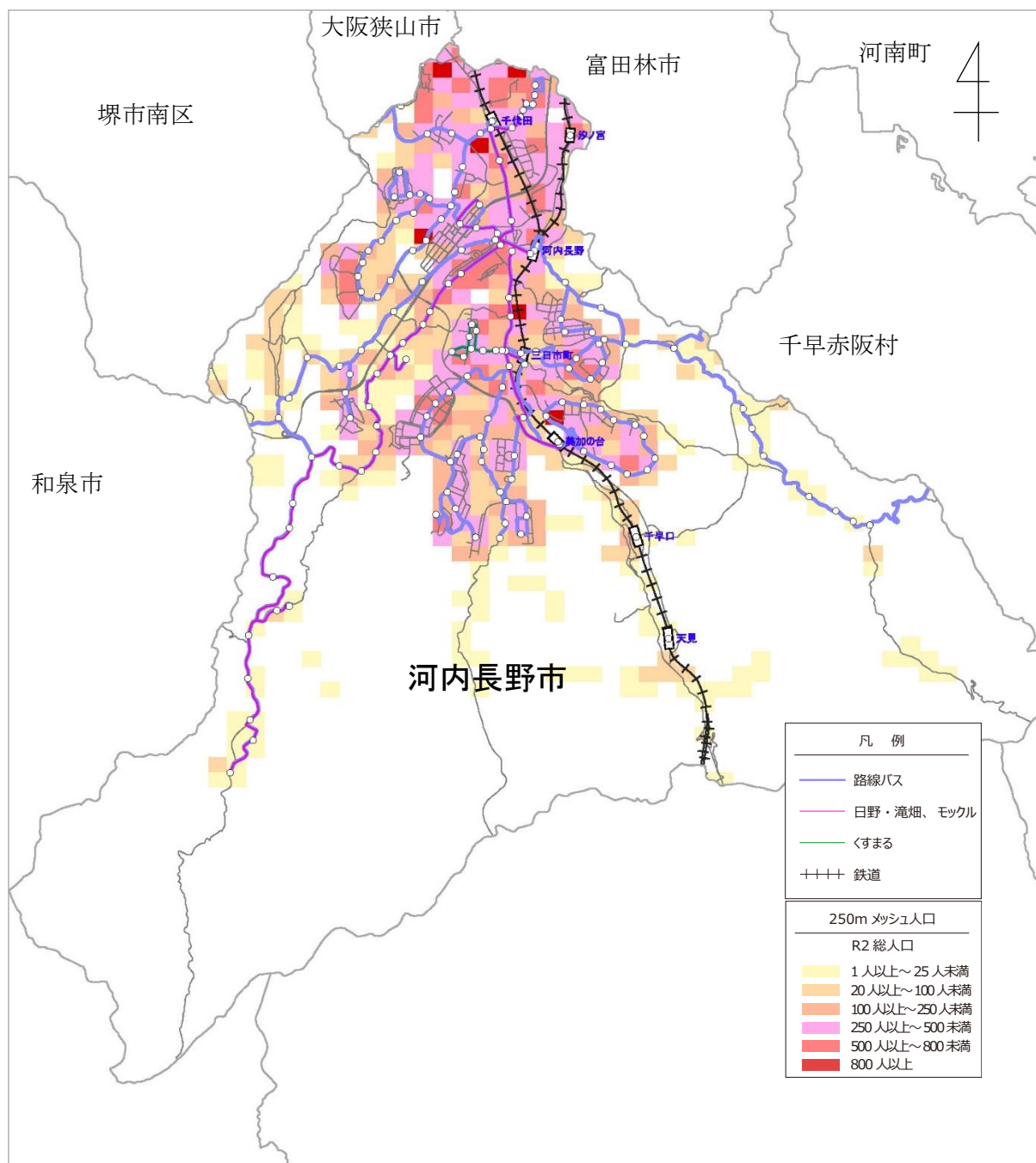
資料:平成12~令和2年:国勢調査、令和7年以降:国立社会保障・人口問題研究所

図 2-3 河内長野市の人口推移

④ 市内の人口の分布状況と変化

(1) 総人口

広域な市街地のうち、人口は市北部の市街地、住宅地に集積しており、山間部は密度が薄く点在する状況となっています。

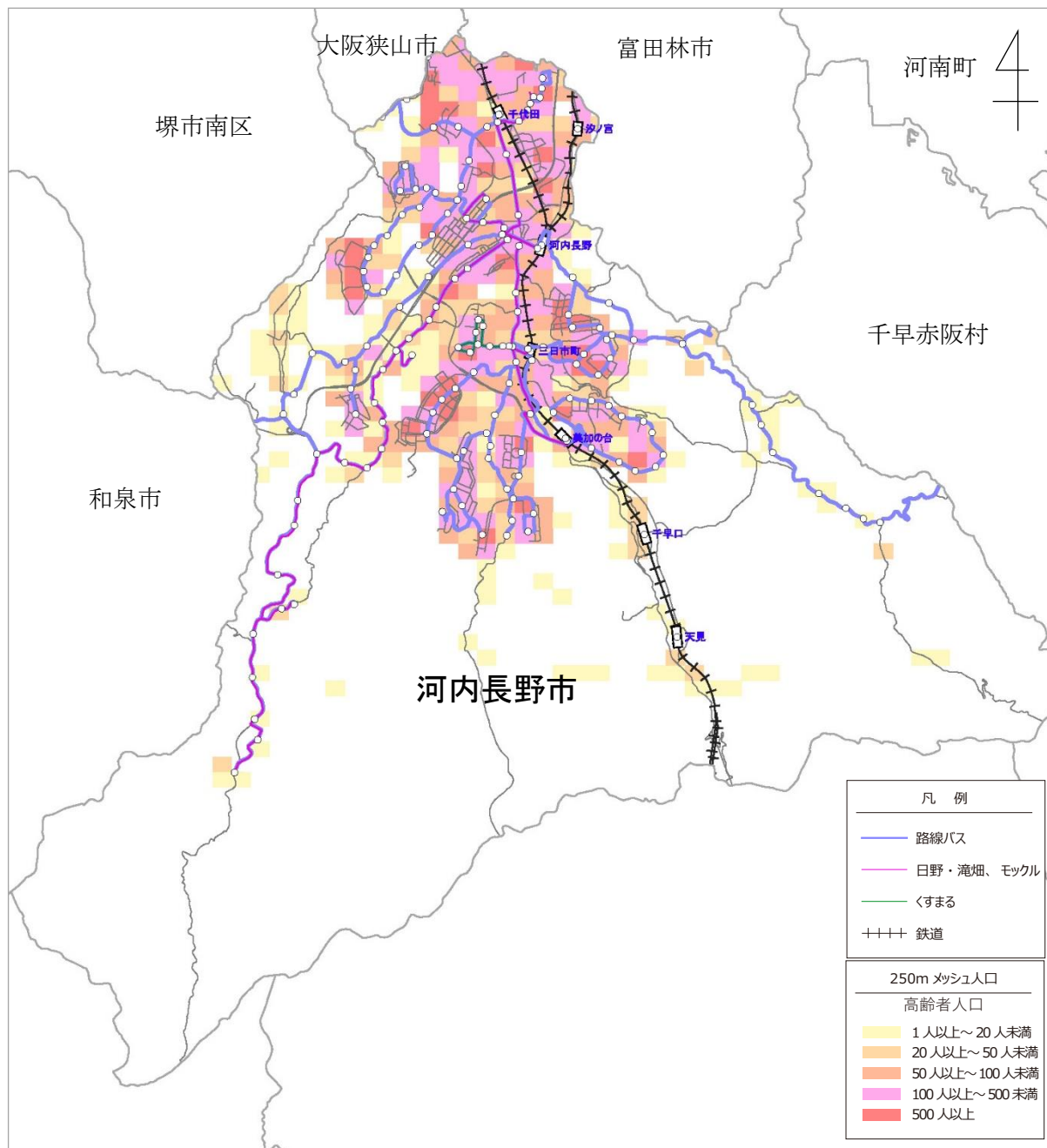


資料：国土数値情報、令和2年国勢調査

図 2-4 令和2年 総人口

(2) 高齢者人口（65 歳以上）

高齢者人口（65 歳以上人口）は総人口と同様に市北部に集積していますが、特に住宅団地に集積しており、長年定住している層が高齢者人口になってきていると考えられます。

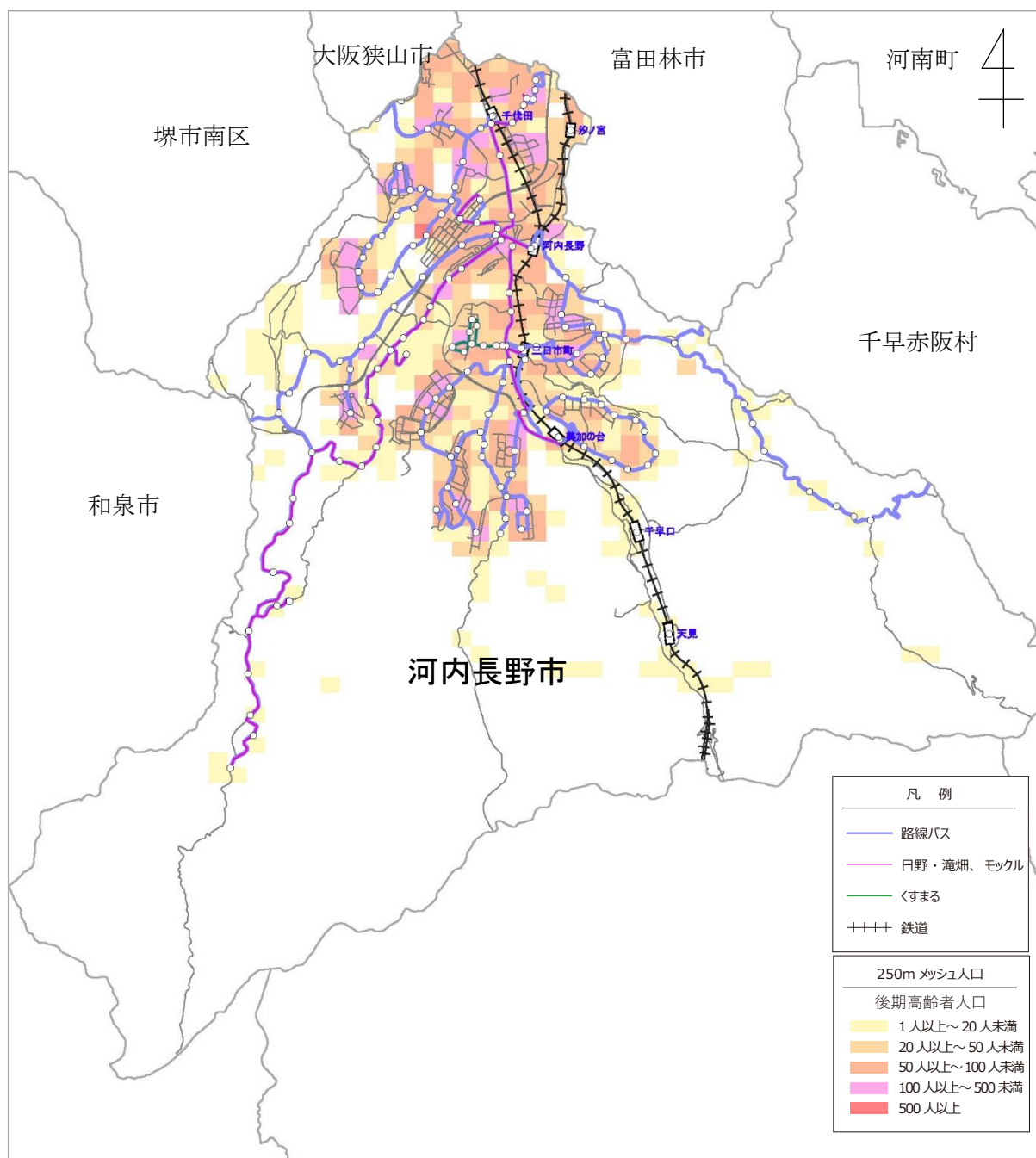


資料: 国土数値情報、令和2年国勢調査

図 2-5 令和 2 年 高齢者人口（65 歳以上）

(3) 後期高齢者人口（75 歳以上）

後期高齢者人口（75 歳以上）は総人口や高齢者人口（65 歳以上）と同様に市北部に集積していますが、特に住宅団地に集積しており、長年定住している層が高齢者人口になってきており、今後も定住を想定とすると 75 歳以上人口が増加していくと考えられます。

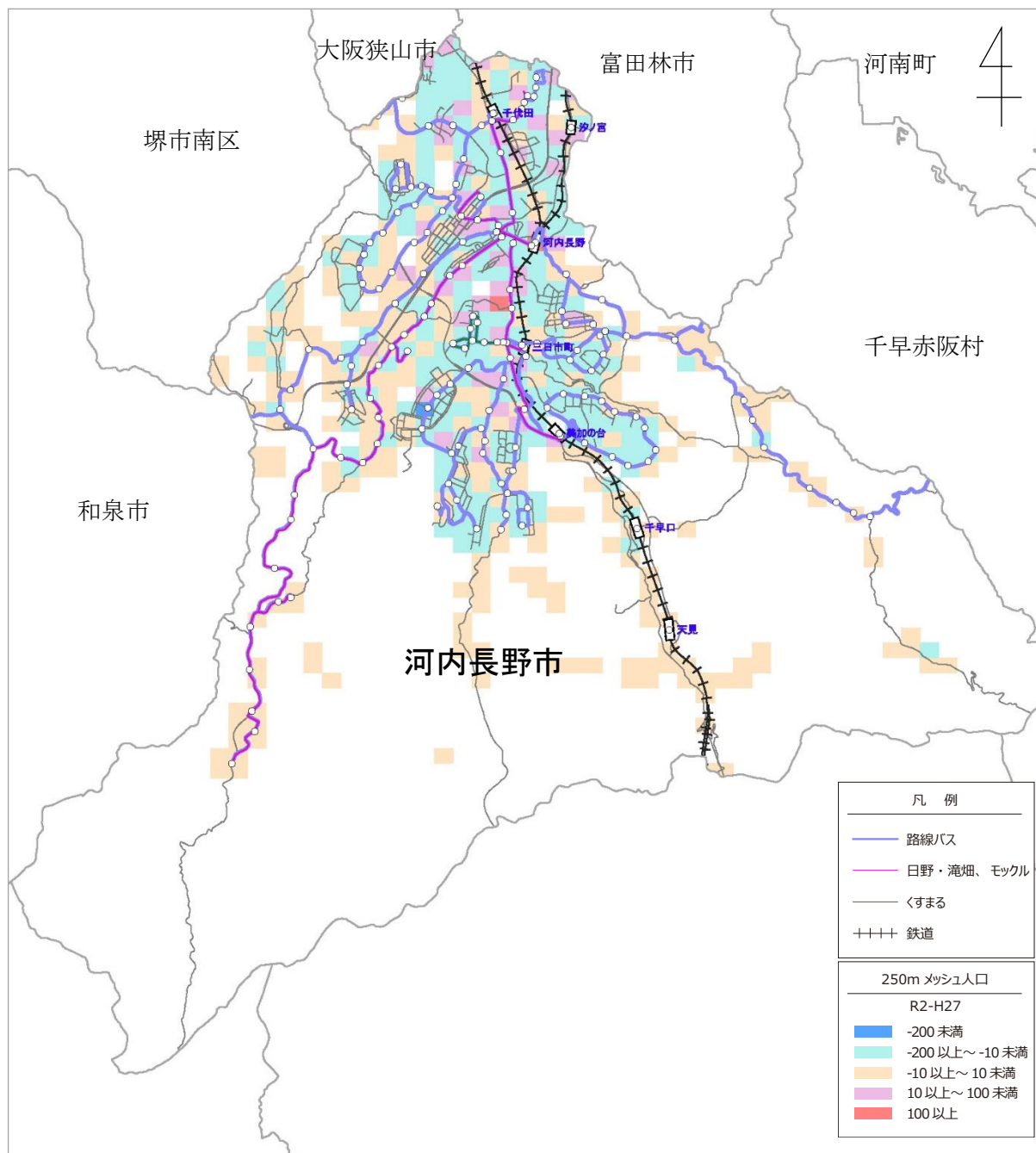


資料: 国土数値情報、令和2年国勢調査

図 2-6 令和 2 年 後期高齢者人口（75 歳以上）

(4) 人口の変化（総人口）

平成 27 年から令和 2 年にかけての人口の変化は、全体的には減少傾向となっていますが、駅やバス路線沿線の一部で増加がみられます。ただし、近接した地域でも隣接したメッシュで増加と減少が両方生じています。

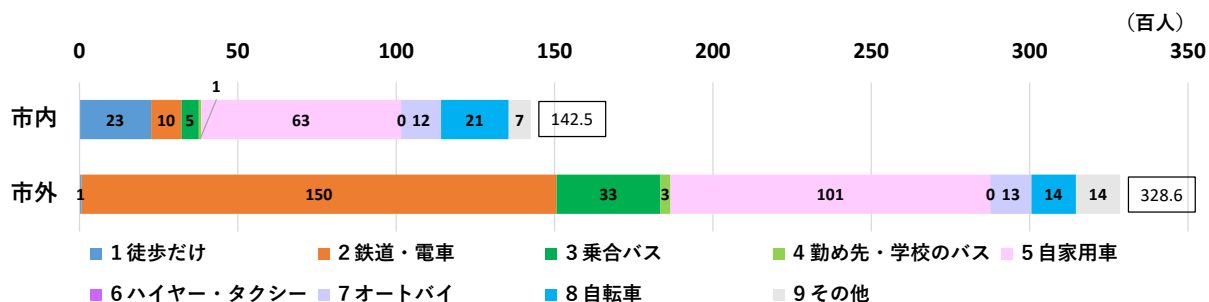


資料:国土数値情報、平成27年・令和2年国勢調査

図 2-7 人口の変化（総人口）

2.2 通勤・通学の移動状況

国勢調査（令和2年）の通勤・通学は、市内は自家用車が多く、次いで徒歩、自転車が多くなっています。また、市外は鉄道・電車が最も多く、次いで自家用車が多くなっています。



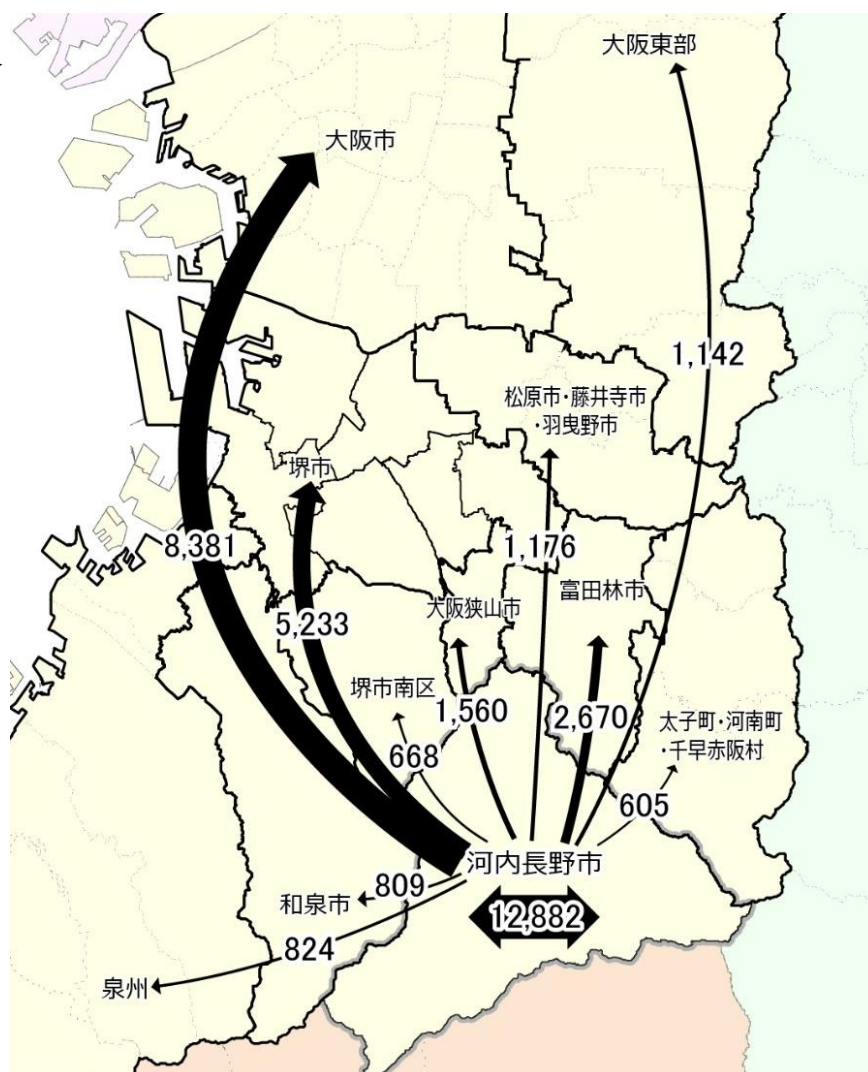
※該当する手段を複数選択
資料: 令和2年国勢調査

図 2-8 令和2年 手段別、通勤・通学人口

通勤先は市内が最も多いものの、市外も多く存在しています。市外は大阪市への流動が最も多く、次いで堺市、富田林市が多くなっています。

〔通勤〕

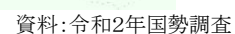
単位：人



※500 以上を表示
資料: 令和2年国勢調査

図 2-9 通勤人口（令和2年）

單位：人

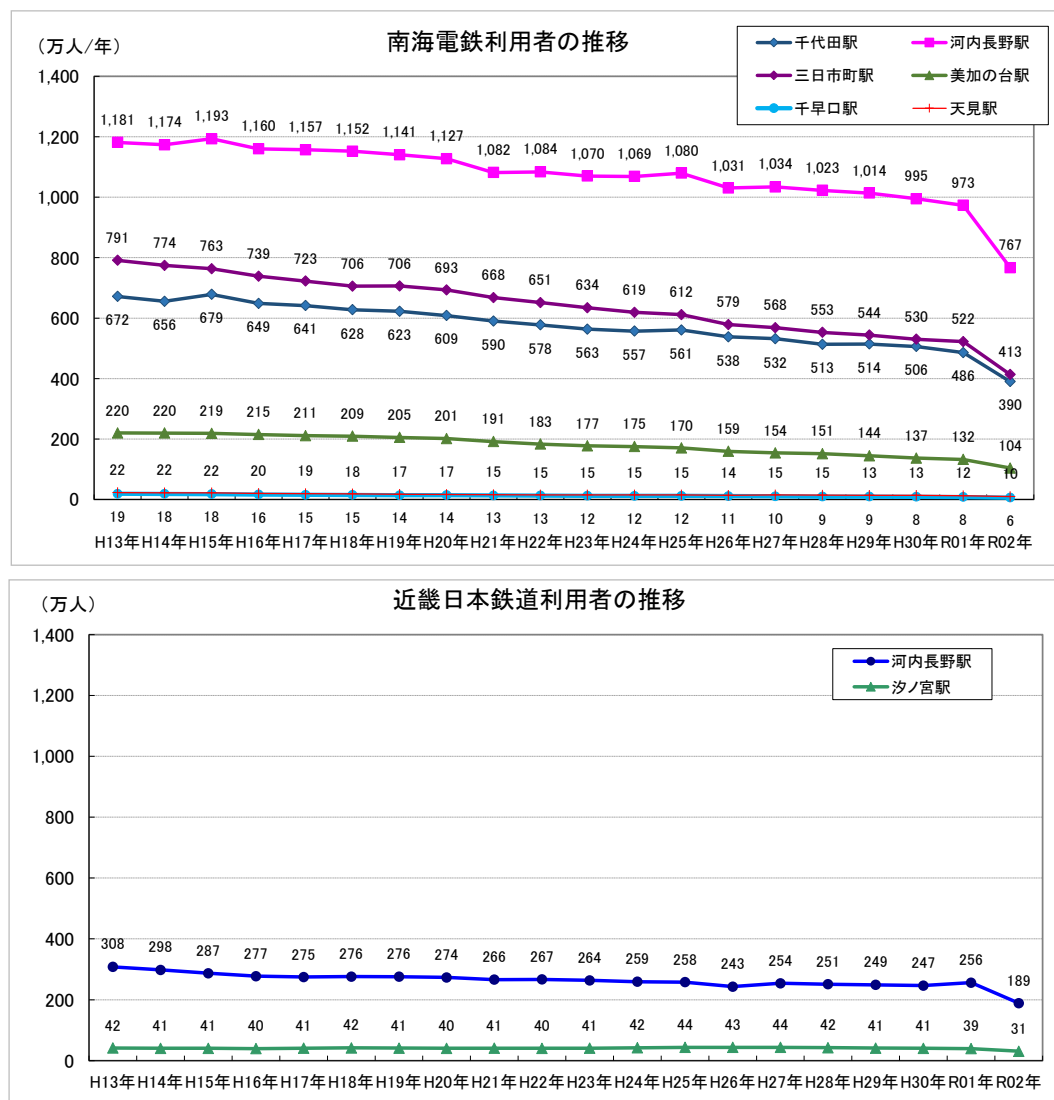


参考-10

2.3 公共交通の利用状況

(1) 駅別の鉄道利用者数の推移

駅別の鉄道利用者数は南海河内長野駅が最も多くなっていますが、長期的には減少傾向が続いている中、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で大きく減少しています。また、三日市町駅、千代田駅、近鉄河内長野駅も同様の傾向となっています。

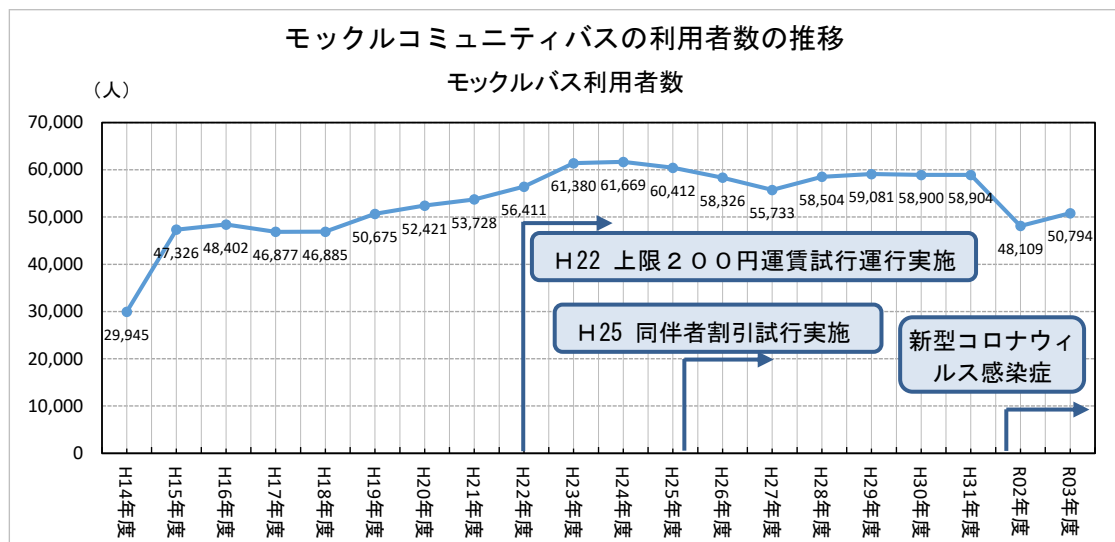


資料:河内長野市統計書

図 2-11 河内長野市内の鉄道利用者の推移

(2) モックルコミュニティバスの利用状況

モックルコミュニティバスでは、平成 22 年 4 月より上限 200 円運賃の試行運行を実施して増加した後、近年は横ばいでしたが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で大きく減少しました。令和 3 年度は微増し、やや回復しています。

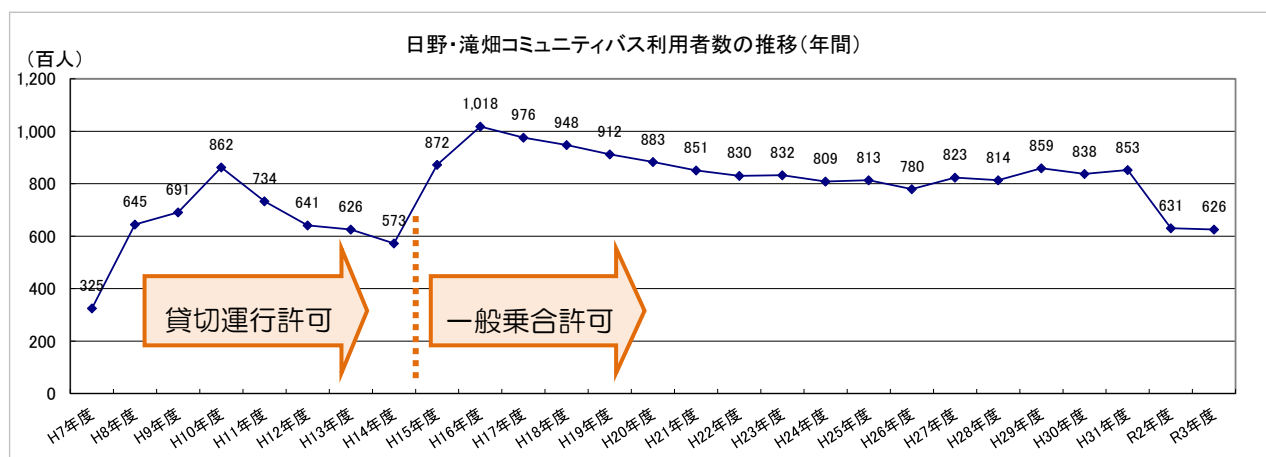


資料:河内長野市調べ

図 2-12 モックルコミュニティバスの利用者数の推移

(3) 日野・滝畑コミュニティバスの利用者数の推移

日野・滝畑コミュニティバスの利用者数は、平成 17 年度以降は、減少傾向となっているが、近年は沿線施設との連携により観光利用のPRを積極的に展開することにより、微増していたものの、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で減少しました。



資料:河内長野市調べ

図 2-13 日野・滝畑コミュニティバス利用者の推移

1) 利用状況〔年別・月別〕

くすまる利用者数

年度	利用者数(百人)
平成28年度	26
平成29年度	26, 22, 22, 26, 24, 25, 25, 28, 29, 26, 27, 26, 26
平成30年度	23, 23, 25, 25, 26, 25, 28, 28, 31, 27, 28, 25, 24, 22, 22
平成31年度	22, 25, 25, 25, 25, 26, 27, 24, 24, 22, 22, 22, 19, 17, 12, 13
令和2年度	18, 20, 19, 19, 20, 17, 16, 13, 13, 13, 16, 15, 15, 16, 19, 17, 17
令和3年度	18, 18, 18, 15, 13, 16

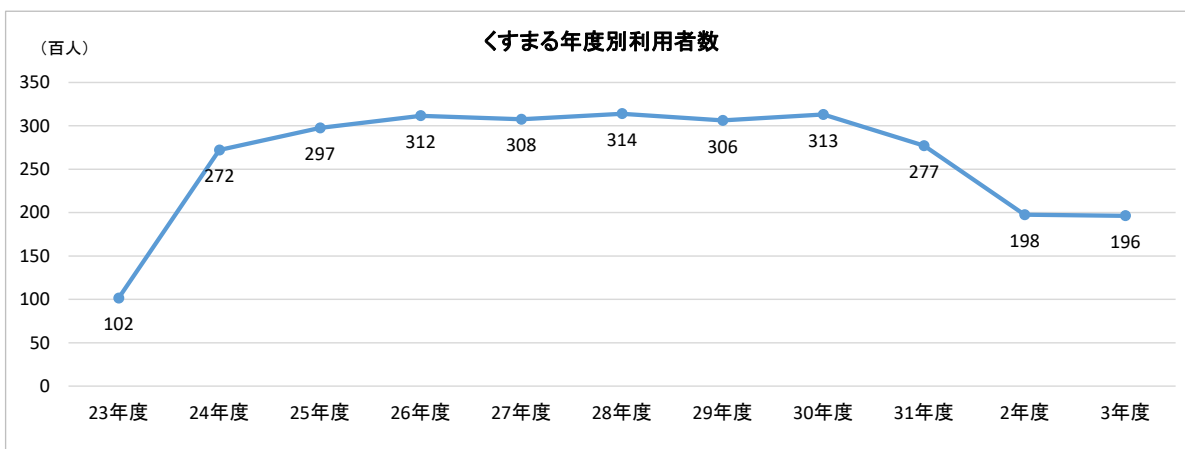
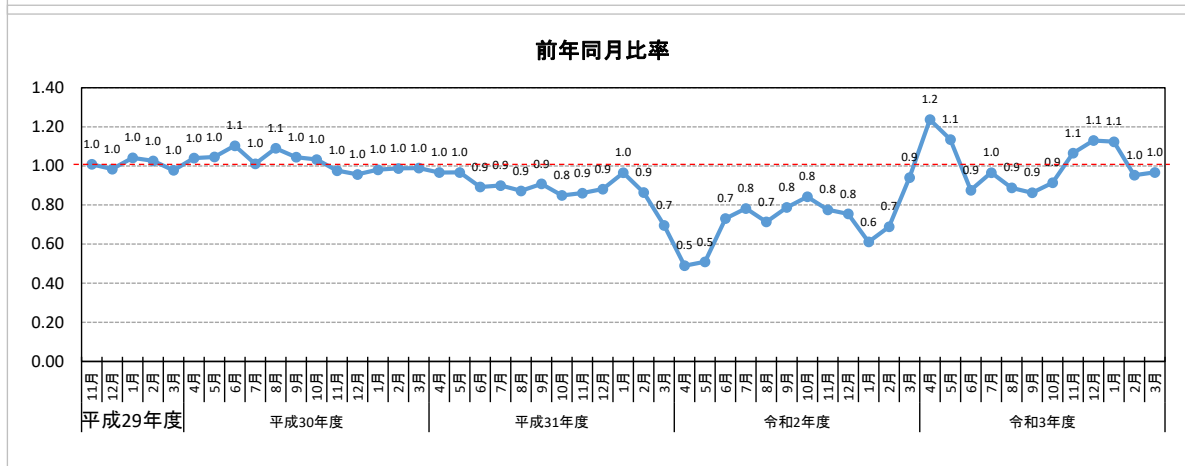
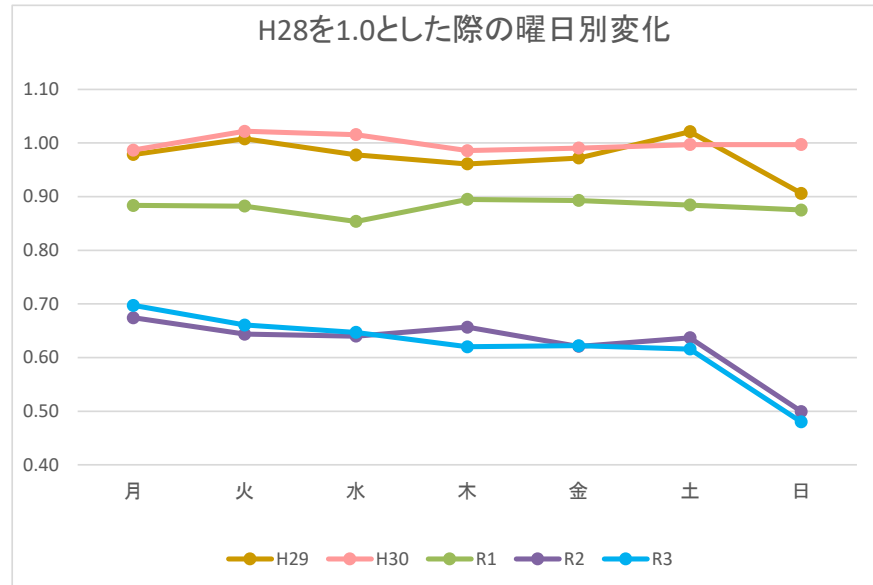


図 2-14 くすまる利用者の推移

2) 利用状況〔曜日別〕

平成 28 年の利用者数を 1.0 とした際の曜日別の変化は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和 2 年度以降は全体的に減少しているものの、月曜日は減少率が小さく、特に日曜日の減少が大きくなっています。

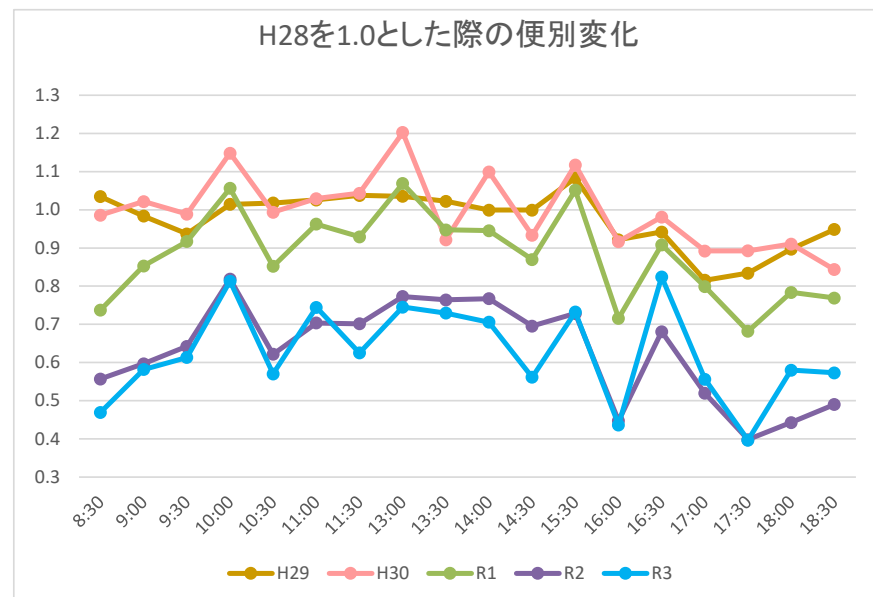


資料:河内長野市調べ

図 2-15 曜日別利用者の推移

3) 利用状況〔便別〕

平成 28 年の利用者数を 1.0 とした際の便別の変化は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和 2 年度以降は全体的に減少しているものの、10:00~16:30 の昼間時間帯は減少率が小さく、朝・夕の減少が大きくなっています。



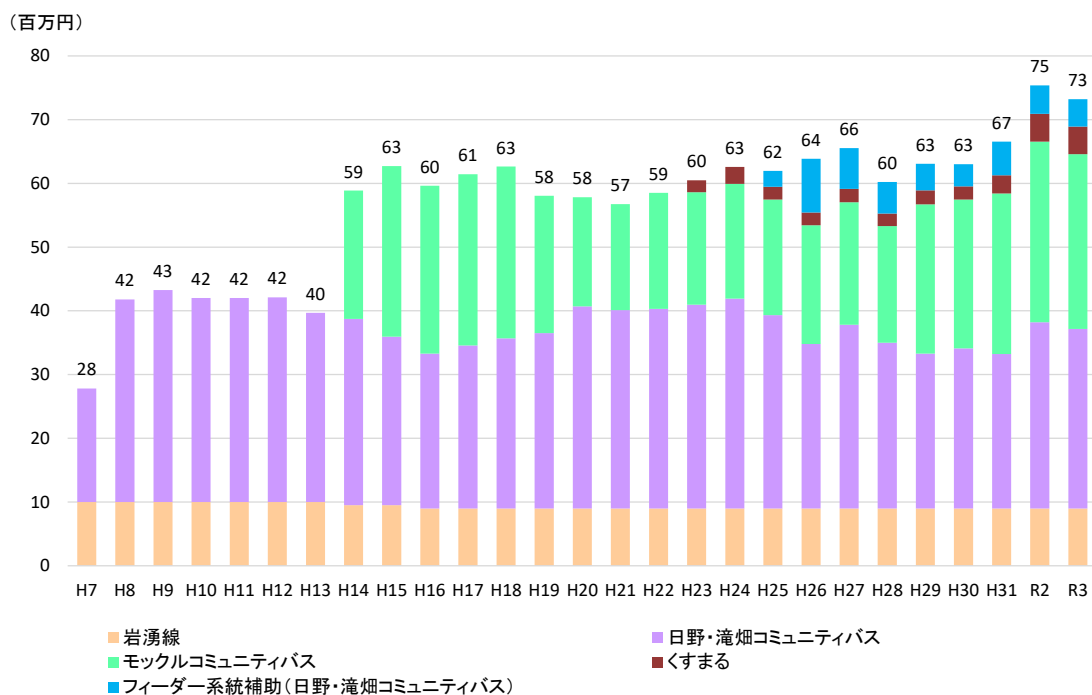
資料:河内長野市調べ

図 2-16 便別利用者の推移

(5) 行政負担額

交通政策に係る行政負担額（運行負担額）は平成 29 年度以降増加傾向となっていました、令和 2 年度に新型コロナウイルス感染症の影響を受けて急激に増加し、令和 3 年度は微減しています。

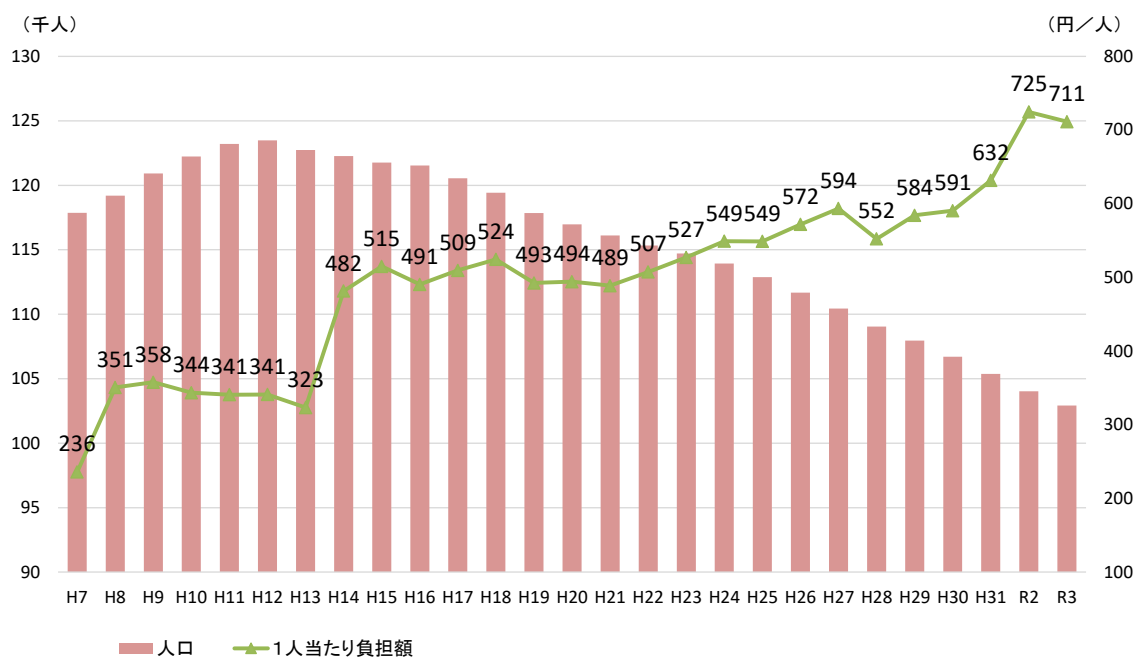
市民 1 人当たりの負担額に着目すると、行政負担額が増加する一方で人口が減少する中、平成 29 年度以降は急激に増加し、令和 3 年度は微減しています。



※フィーダー系統補助とは、国の補助（地域公共交通確保維持改善事業費補助金）の 1 つで、地域の特性や実情に応じた生活交通ネットワークを確保・維持し、高齢者等の生活を支えるため、地域内の一定の生活交通等の運行に対して支援されるもの。

資料：河内長野市資料

図 2-17 交通政策に係る行政負担（運行負担額）



資料：河内長野市資料

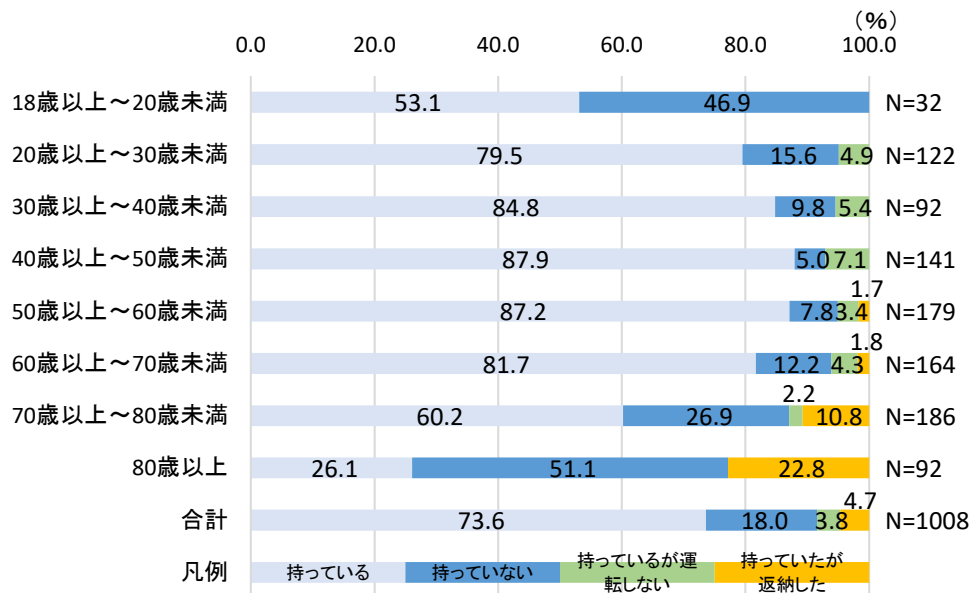
図 2-18 交通政策に係る市民 1 人あたり負担額（運行負担額）

3. 市政アンケート

(1) 交通手段について

1) 運転免許保有状況

運転免許は約 7 割が保有しているものの、20 歳未満では約 5 割、80 歳以上になると 3 割弱となっています。

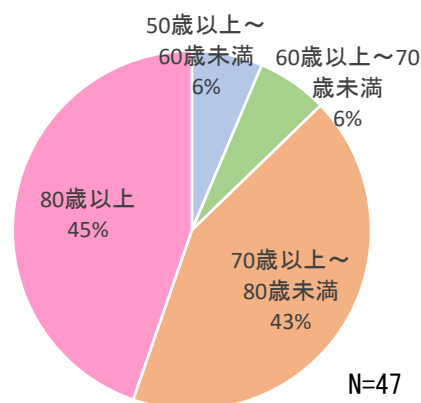


資料: 令和3年度 河内長野市市政アンケート調査

図 3-1 運転免許保有状況

2) 運転免許を「持っていたが返納した」と回答した人の年齢

運転免許を「持っていたが返納した」人の年齢は、70 歳以上が約 9 割となっています。

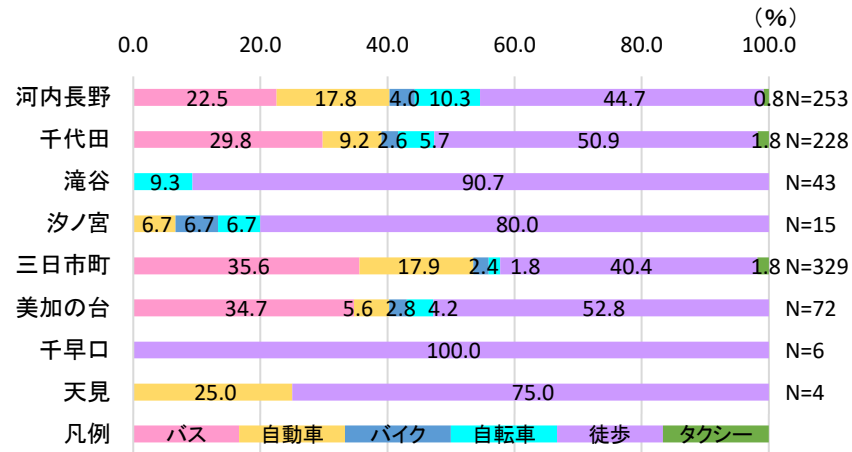


資料: 令和3年度 河内長野市市政アンケート調査

図 3-2 運転免許返納時の年齢

3) 最寄り駅別の駅までの主な交通手段

最寄り駅別の駅までの主な交通手段は、全体的に徒歩が多くなっていますが、三日市町駅、美加の台駅ではバスも3割を超えており、千代田駅や河内長野駅でもバスが存在しています。また、河内長野駅、千代田駅、汐ノ宮駅、三日市町駅、美加の台駅、天見駅では自動車も存在しています。

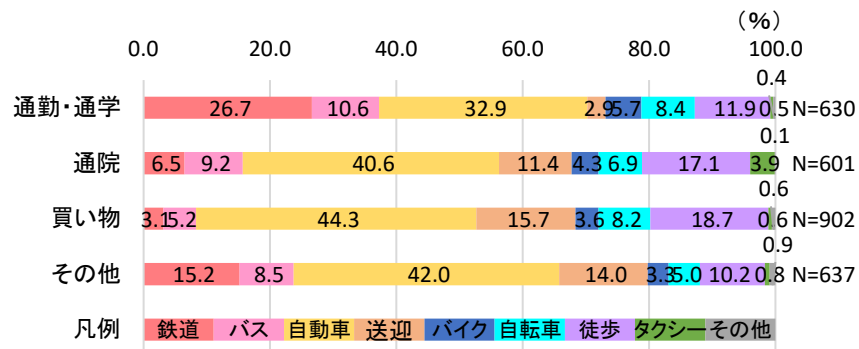


資料: 令和3年度 河内長野市市政アンケート調査

図 3-3 最寄り駅別の駅までの主な交通手段

4) 目的別の主な交通手段

目的別の主な交通手段は、いずれも自動車が最も多くなっていますが、通勤・通学では鉄道も3割弱存在しています。また、通院、買物、その他では送迎も1割を超えています。



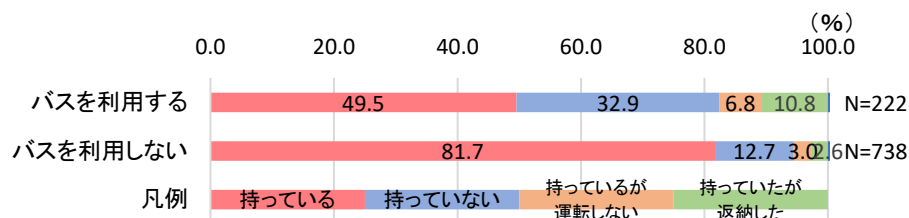
資料: 令和3年度 河内長野市市政アンケート調査

図 3-4 目的別の主な交通手段

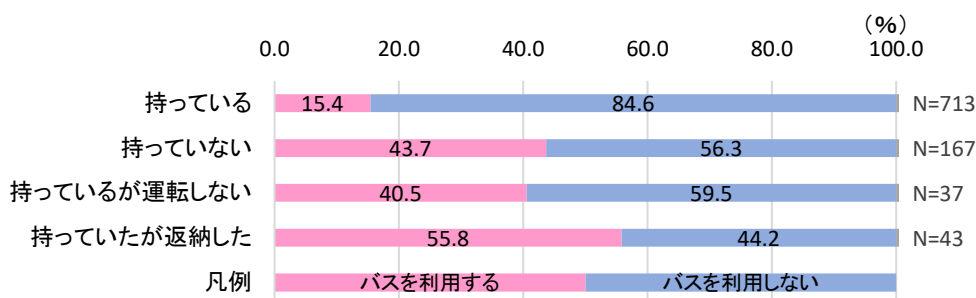
(2) 公共交通の利用状況

1) バスの利用有無別の免許保有状況

「バスを利用する」人の方が「バスを利用しない」人よりも「免許を持っていない」、「持っているが運転しない」、「持っていたが返納した」人の割合が高くなっており、これらの人には重要な移動手段と想定されます。



(参考)

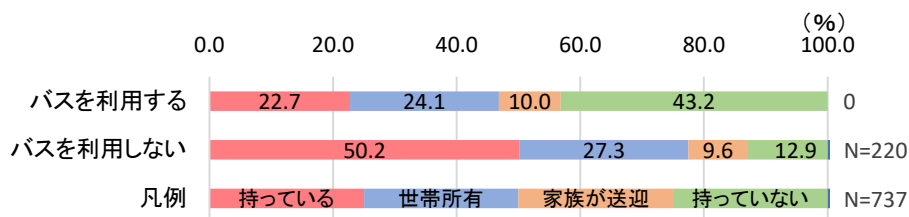


資料: 令和3年度 河内長野市市政アンケート調査

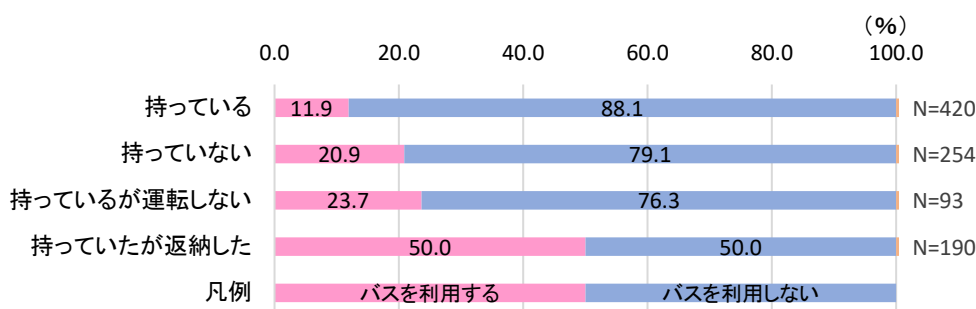
図 3-5 バスの利用有無別の免許保有状況

2) バスの利用有無別の自動車保有状況

バスを利用する人は自動車を「持っていない」人の割合が高くなっています。「家族が送迎」はバスを利用する人もしない人も同程度存在しています。



(参考)

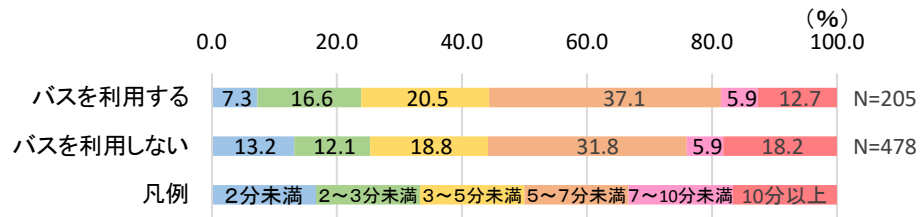


資料: 令和3年度 河内長野市市政アンケート調査

図 3-6 バスの利用有無別の自動車保有状況

3) バスの利用有無別の最寄りバス停への所要時間

バスの利用有無別の最寄りバス停への所要時間は、5分未満までは大きくは変わらないものの、「バスを利用しない」人は10分以上が多くなっています。



資料: 令和3年度 河内長野市市政アンケート調査

図 3-7 バスの利用有無別の最寄りバス停への所要時間

4) バスを利用する理由

バスを利用する理由は「自宅近くにバス停がある」が最も多く、次いで「行きたい場所までルートがある」「バス以外に交通手段がない」となっています。

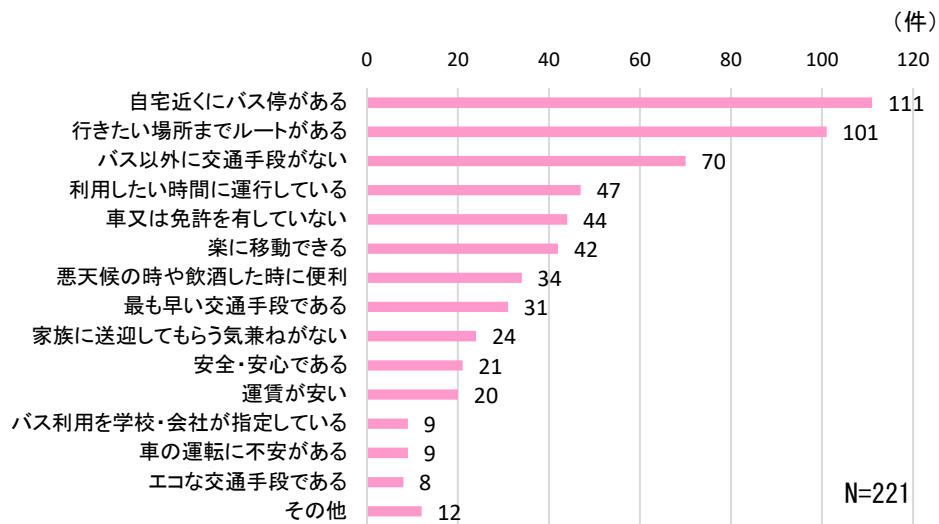
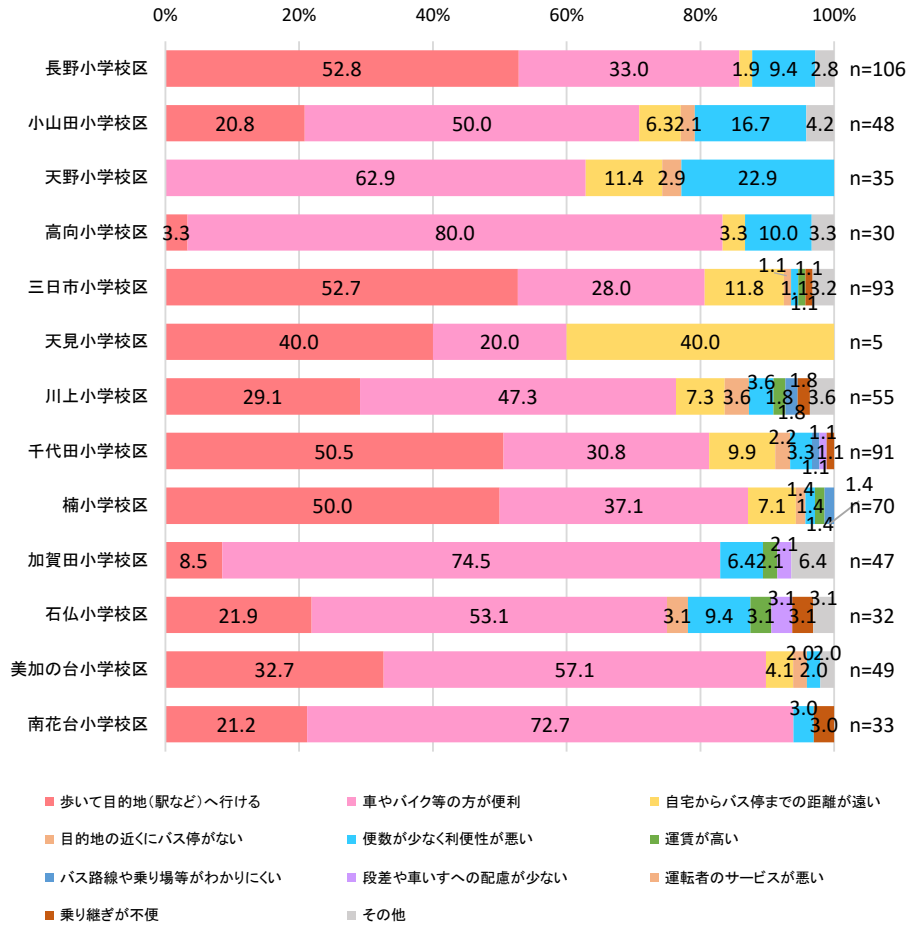


図 3-8 バスを利用する理由

5) バスを利用していない理由（1位）

バスを利用していない理由は、長野小学校区、三日市小学校区、千代田小学校区、楠小学校区では「歩いて目的地（駅など）へ行ける」が5割以上となっており、その他の小学区は「車やバイク等の方が便利」が多くなっています。天野小学校区や小山田小学校区では「便数が少なく利便性が悪い」も約2割存在しています。

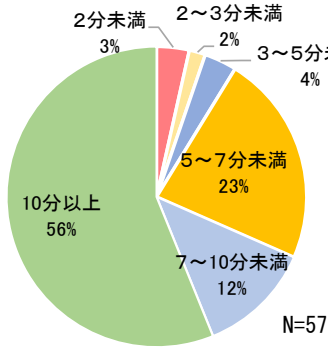


資料:令和3年度 河内長野市市政アンケート調査

図 3-9 バスを利用していない理由（1位）

6) バスを利用していない理由で、「自宅からバス停までの距離が遠い」と回答した人の所要時間

バスを利用していない理由で「自宅からバス停までの距離が遠い」と回答した人は過半数が10分以上となっています。



資料:令和3年度 河内長野市市政アンケート調査

図 3-10 バスを利用していない理由で、「自宅からバス停までの距離が遠い」と回答した人の所要時間

7) タクシーを利用する理由

タクシーを利用する理由は「バスのない時間帯に利用できる」が最も多く、次いで「最も早い交通手段である」「楽に移動できる」となっています。

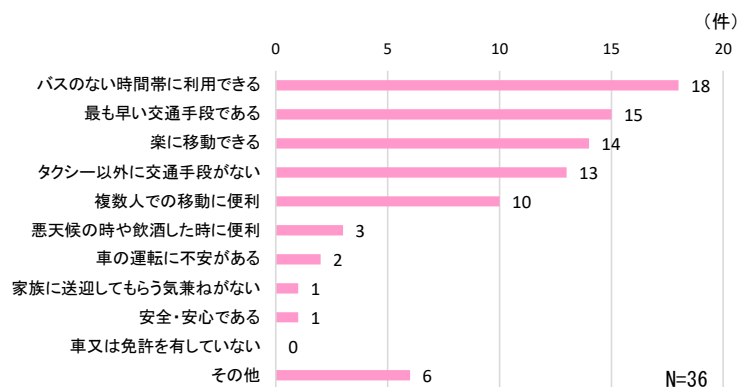


図 3-11 タクシーを利用する理由

8) 重要と考える公共交通施策（1位）

重要と考える公共交通施策は、全体的には「高齢者への公共交通利用に対する支援制度」、次いで「免許を返納した人への公共交通利用に対する支援制度」が多くなっています。

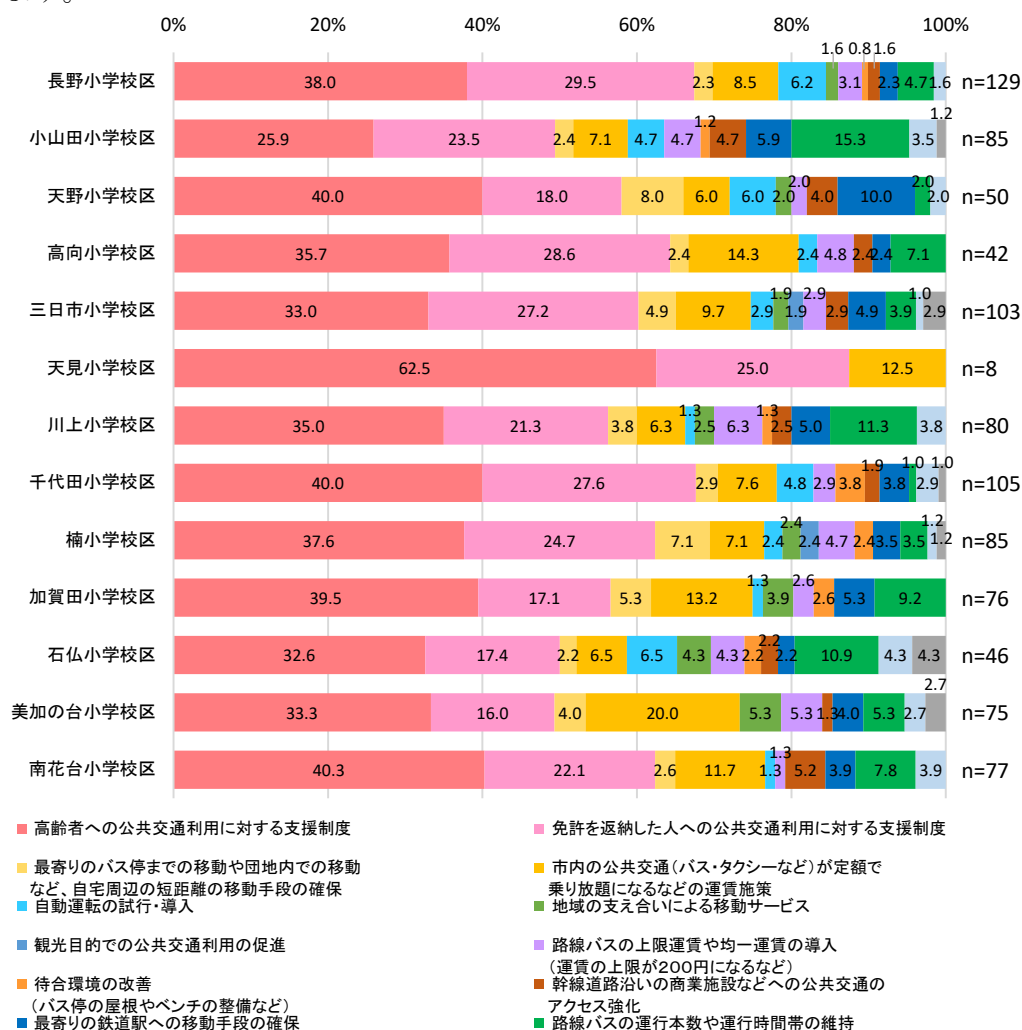


図 3-12 重要と考える公共交通施策（1位）

(3) 公共交通の満足度・意向等

1) 公共交通の満足度

公共交通の満足度は、天見小学校区で“不満”が3割と最も多くなっており、“やや不満”を合わせると、天野小学校区、加賀田小学校区で約5割以上と高くなっています。

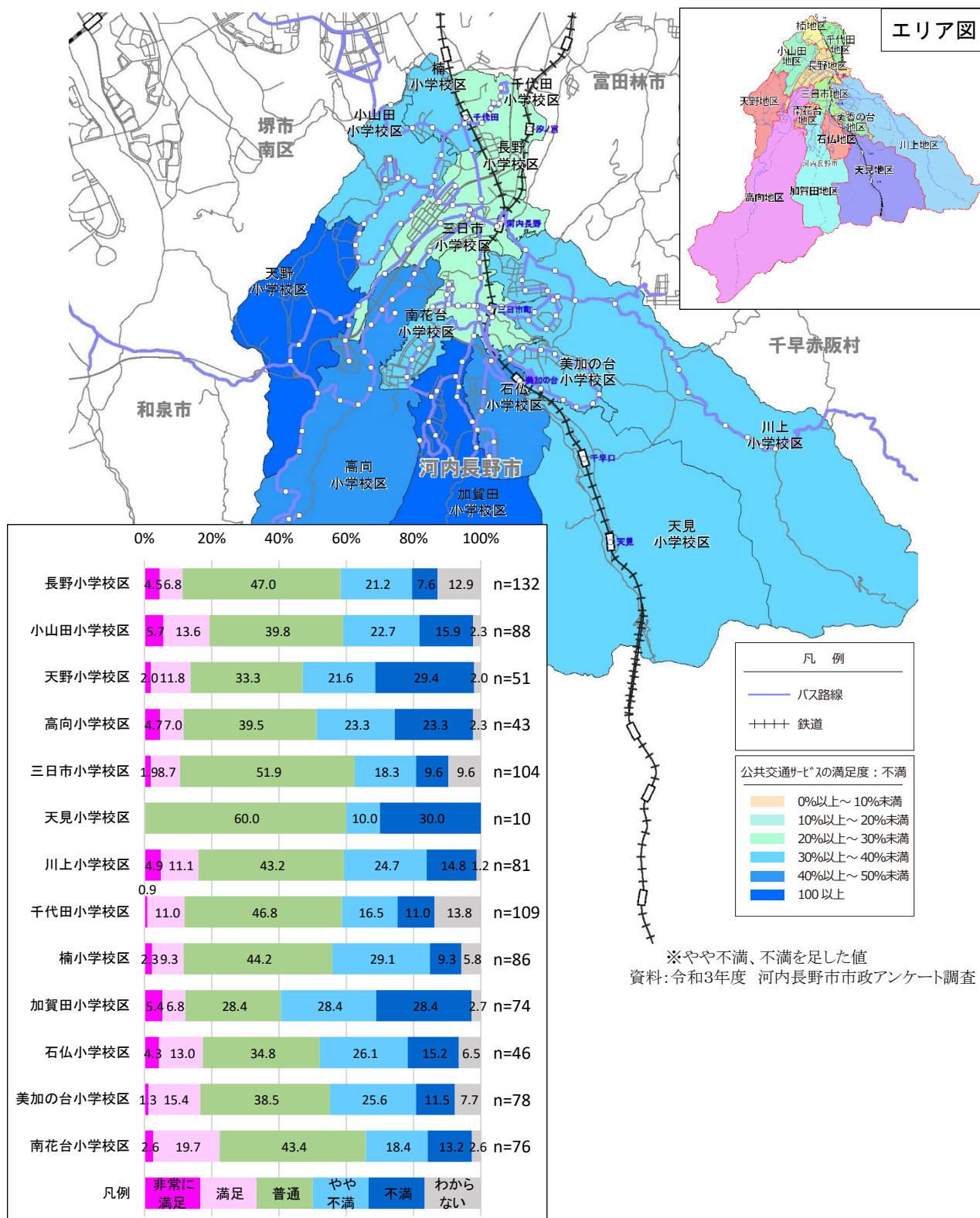
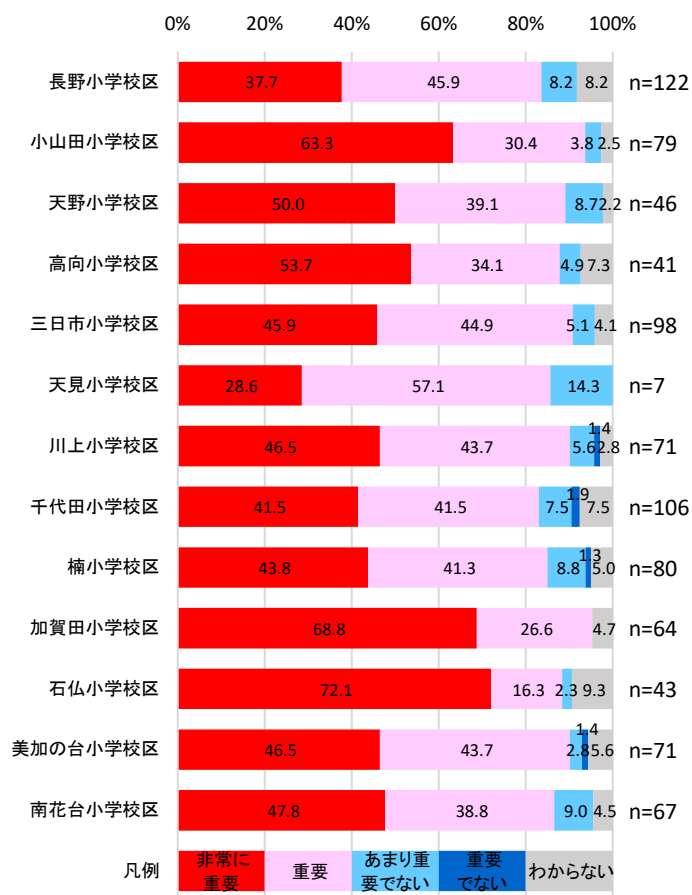


図 3-13 公共交通の満足度

2) 公共交通の重要度

公共交通の重要性は、全体的に重要と感じている小学校区が多く、小山田小学校区、天野小学校区、高向小学校区、加賀田小学校区、石仏小学校区で「非常に重要」が5割を超えています。



資料: 令和3年度 河内長野市市政アンケート調査

図 3-14 公共交通の重要度

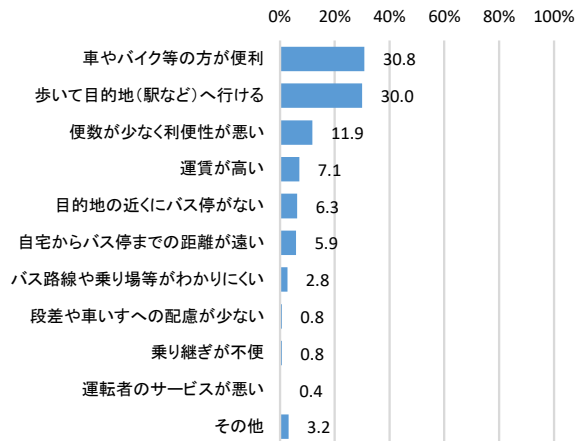
3) 小学校区別の意向

ア) 長野小学校区

長野小学校区の「バスを利用しない理由」は「車やバイク等の方が便利」が最も多く、次いで「歩いて目的地（駅など）へ行ける」となっています。

「重要と考える公共交通施策」は「免許を返納した人への公共交通利用に対する支援制度」「高齢者への公共交通利用に対する支援制度」「市内の公共交通（バス・タクシーなど）が定額で乗り放題になるなどの運賃施策」が多くなっています。

○バスを利用しない理由



○重要と考える公共交通施策

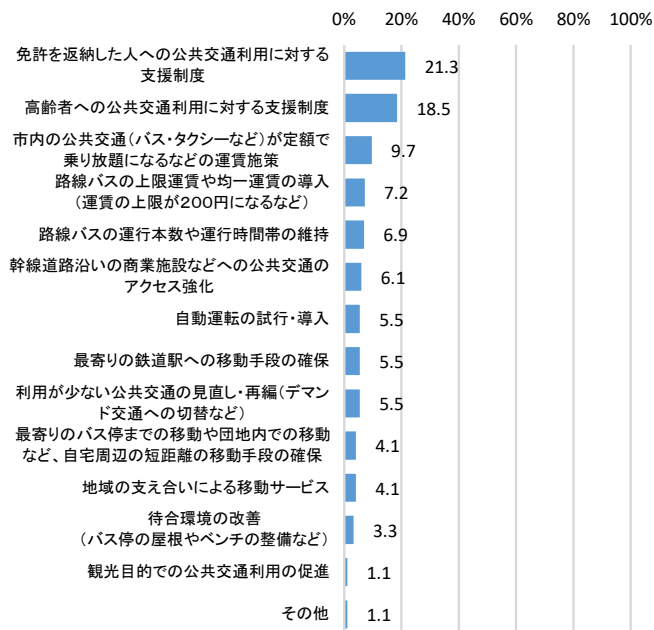


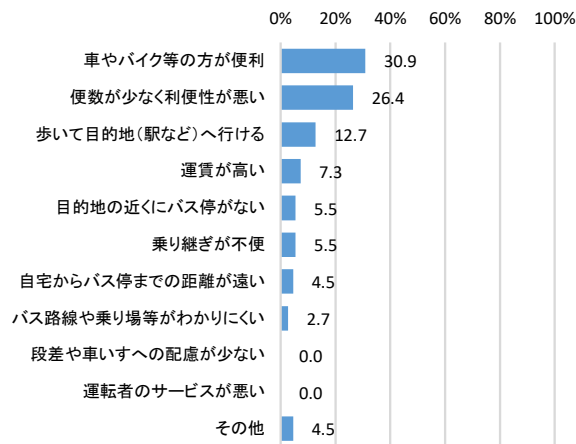
図 3-15 長野小学校区のバスを利用しない理由、重要と考える公共交通施策

イ) 小山田小学校区

小山田小学校区の「車やバイク等の方が便利」が最も多く、次いで「便数が少なく利便性が悪い」となっています。

「重要と考える公共交通施策」は「免許を返納した人への公共交通利用に対する支援制度」「高齢者への公共交通利用に対する支援制度」「路線バスの運行本数や運行時間帯の維持」が多くなっています。

○バスを利用しない理由



○重要と考える公共交通施策

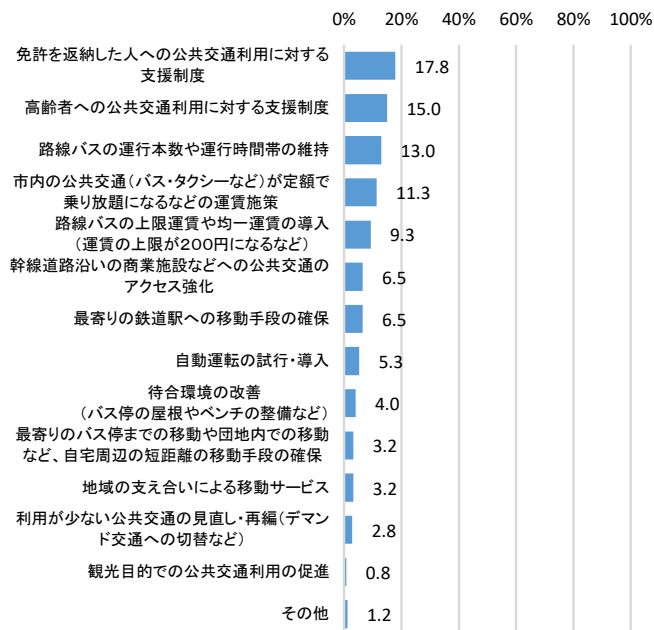


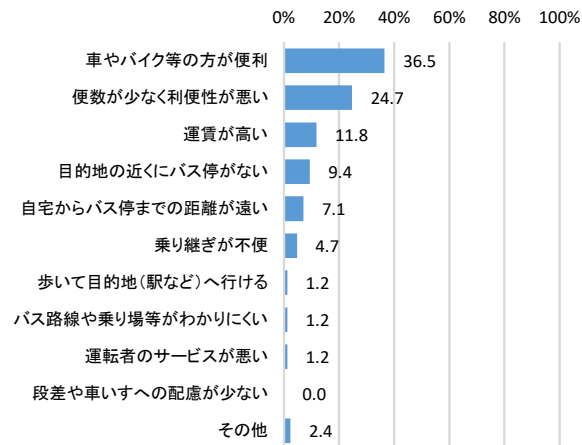
図 3-16 小山田小学校区のバスを利用しない理由、重要と考える公共交通施策

ウ) 天野小学校区

天野小学校区の「バスを利用しない理由」は「車やバイク等の方が便利」が最も多く、次いで「便数が少なく利便性が悪い」となっています。

「重要と考える公共交通施策」は「高齢者への公共交通利用に対する支援制度」「免許を返納した人への公共交通利用に対する支援制度」「路線バスの上限運賃や均一運賃（運賃の上限が 200 円になるなど）」が多くなっています。

○バスを利用しない理由



○重要と考える公共交通施策

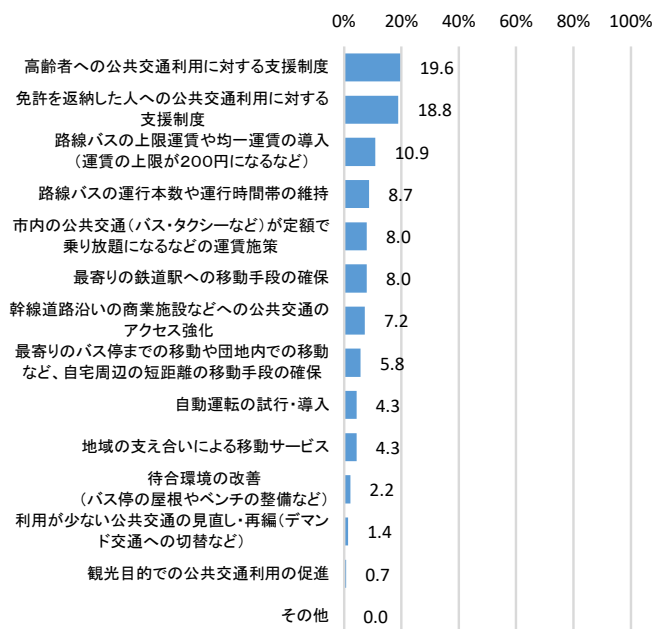


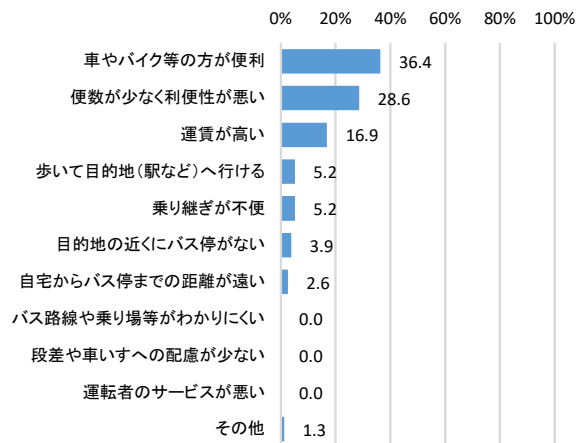
図 3-17 天野小学校区のバスを利用しない理由、重要と考える公共交通施策

エ) 高向小学校区

高向小学校区の「バスを利用しない理由」は「車やバイク等の方が便利」が最も多く、次いで「便数が少なく利便性が悪い」となっています。

「重要と考える公共交通施策」は「免許を返納した人への公共交通利用に対する支援制度」「高齢者への公共交通利用に対する支援制度」「市内の公共交通（バス・タクシーなど）が定額で乗り放題になるなどの運賃施策」が多くなっています。

○バスを利用しない理由



○重要と考える公共交通施策

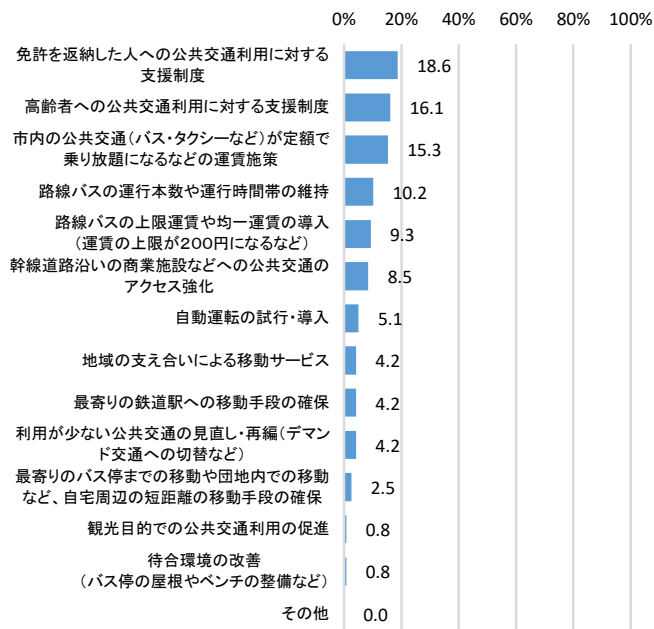


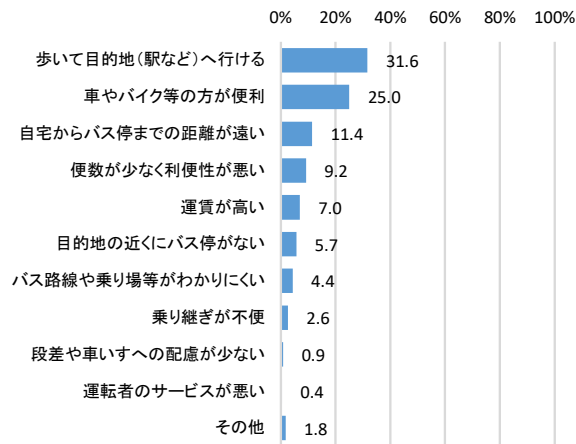
図 3-18 高向小学校区のバスを利用しない理由、重要と考える公共交通施策

オ) 三日市小学校区

三日市小学校区の「バスを利用しない理由」は「歩いて目的地（駅など）へ行ける」が最も多く、次いで「車やバイク等の方が便利」となっています。

「重要と考える公共交通施策」は「免許を返納した人への公共交通利用に対する支援制度」「高齢者への公共交通利用に対する支援制度」「市内の公共交通（バス・タクシーなど）が定額で乗り放題になるなどの運賃施策」が多くなっています。

○バスを利用しない理由



○重要と考える公共交通施策

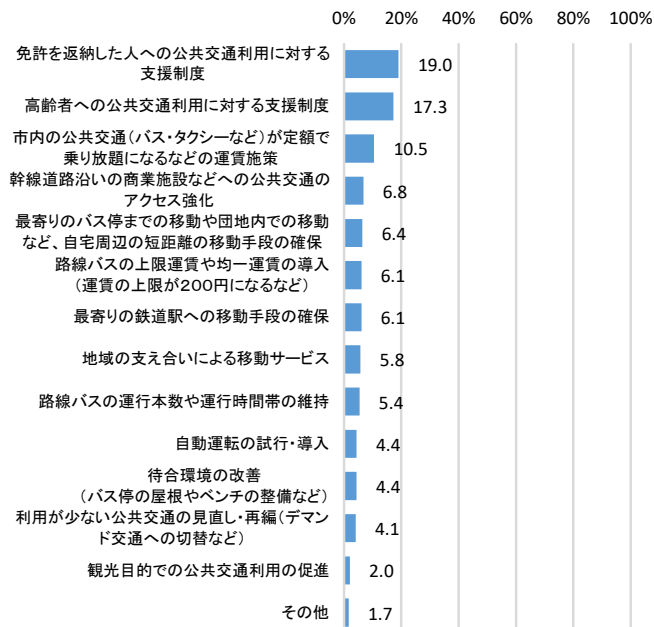


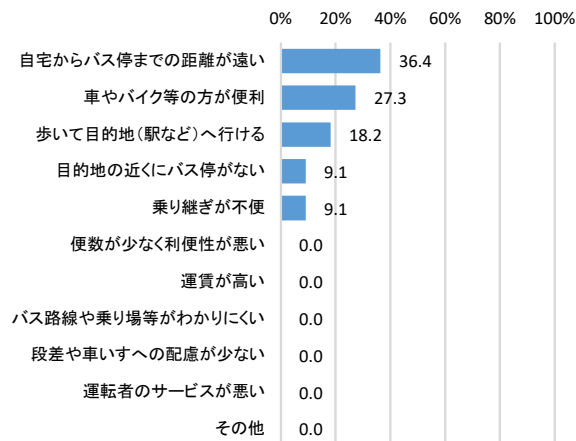
図 3-19 三日市小学校区のバスを利用しない理由、重要と考える公共交通施策

カ) 天見小学校区

天見小学校区は「バスを利用しない理由」は「自宅からバス停までの距離が遠い」が最も多く、次いで「車やバイク等の方が便利」となっています。

「重要と考える公共交通施策」は「高齢者への公共交通利用に対する支援制度」「免許を返納した人への公共交通利用に対する支援制度」が多くなっています。

○バスを利用しない理由



○重要と考える公共交通施策

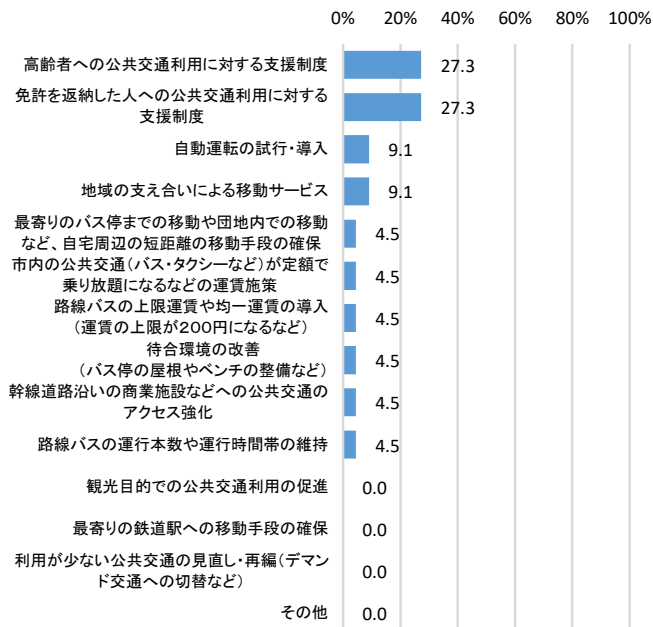


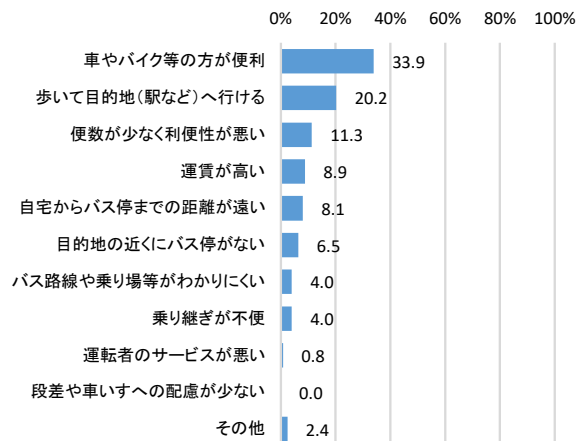
図 3-20 天見小学校区のバスを利用しない理由、重要と考える公共交通施策

キ) 川上小学校区

川上小学校区の「バスを利用しない理由」は「車やバイク等の方が便利」が最も多く、次いで「歩いて目的地（駅など）へ行ける」となっています。

「重要と考える公共交通施策」は「高齢者への公共交通利用に対する支援制度」「免許を返納した人への公共交通利用に対する支援制度」「路線バスの運行本数や運行時間帯の維持」が多くなっています。

○バスを利用しない理由



○重要と考える公共交通施策

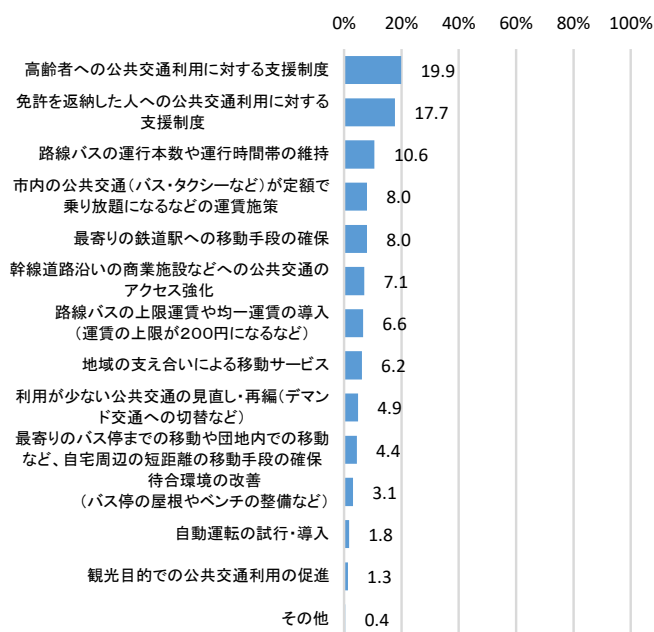


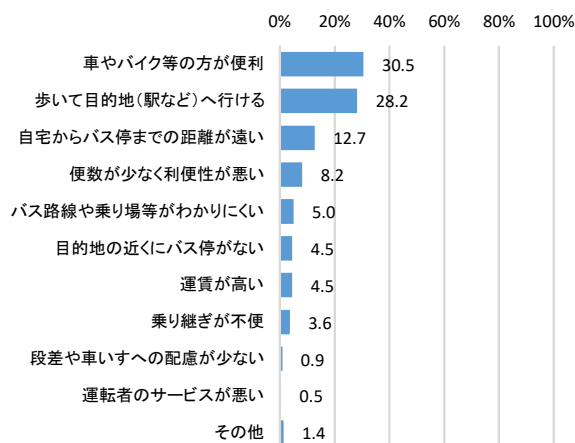
図 3-21 川上小学校区のバスを利用しない理由、重要と考える公共交通施策

ク) 千代田小学校区

千代田小学校区の「バスを利用しない理由」は「車やバイク等の方が便利」が最も多く、次いで「歩いて目的地（駅など）へ行ける」となっています。

「重要と考える公共交通施策」は「高齢者への公共交通利用に対する支援制度」「免許を返納した人への公共交通利用に対する支援制度」「市内の公共交通（バス・タクシーなど）が定額で乗り放題になるなどの運賃施策」が多くなっています。

○バスを利用しない理由



○重要と考える公共交通施策

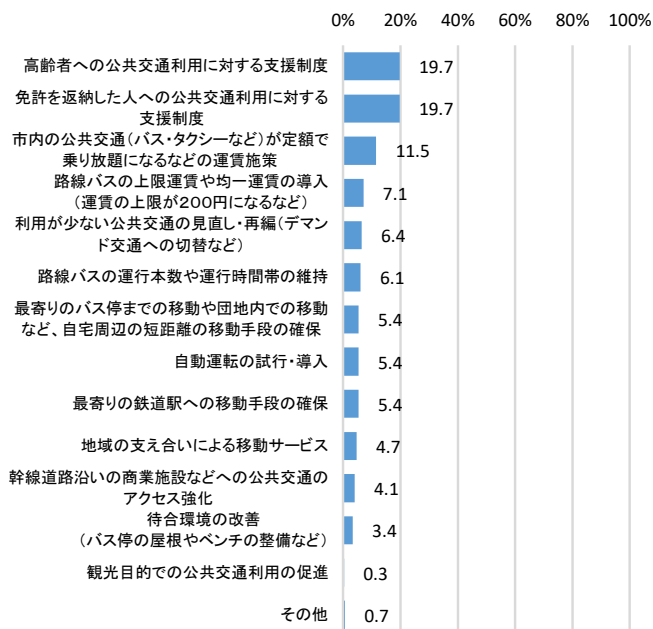


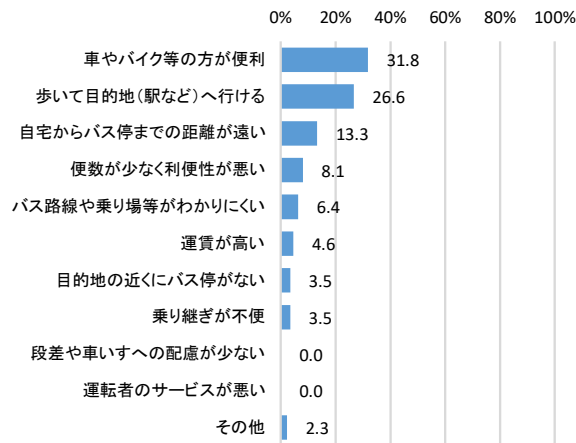
図 3-22 千代田小学校区のバスを利用しない理由、重要と考える公共交通施策

ケ) 楠小学校区

楠小学校区の「バスを利用しない理由」は「車やバイク等の方が便利」が最も多く、次いで「歩いて目的地（駅など）へ行ける」となっています。

「重要と考える公共交通施策」は「免許を返納した人への公共交通利用に対する支援制度」「高齢者への公共交通利用に対する支援制度」「市内の公共交通（バス・タクシーなど）が定額で乗り放題になるなどの運賃施策」が多くなっています。

○バスを利用しない理由



○重要と考える公共交通施策

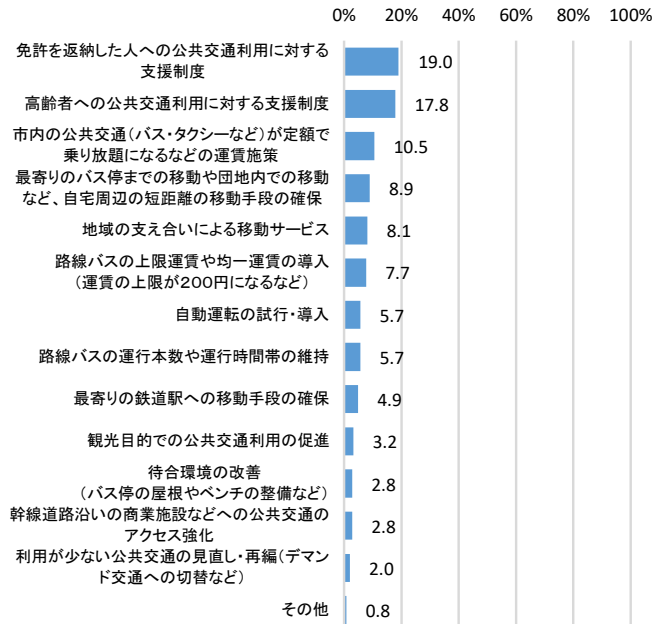


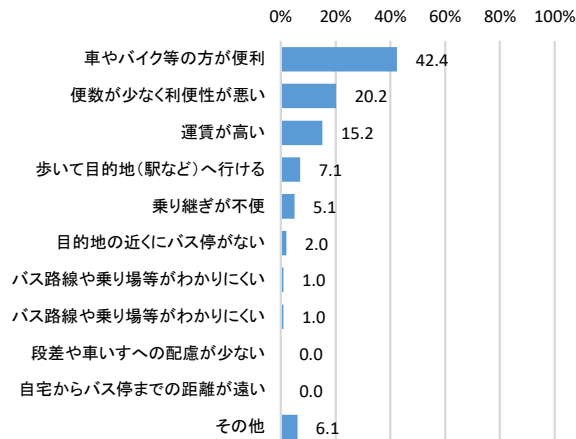
図 3-23 楠小学校区のバスを利用しない理由、重要と考える公共交通施策

コ) 加賀田小学校区

加賀田小学校区の「バスを利用しない理由」は「車やバイク等の方が便利」が最も多く、次いで「便数が少なく利便性が悪い」となっています。

「重要と考える公共交通施策」は「高齢者への公共交通利用に対する支援制度」「免許を返納した人への公共交通利用に対する支援制度」「路線バスの上限運賃や均一運賃（運賃の上限が 200 円になるなど）」が多くなっています。

○バスを利用しない理由



○重要と考える公共交通施策

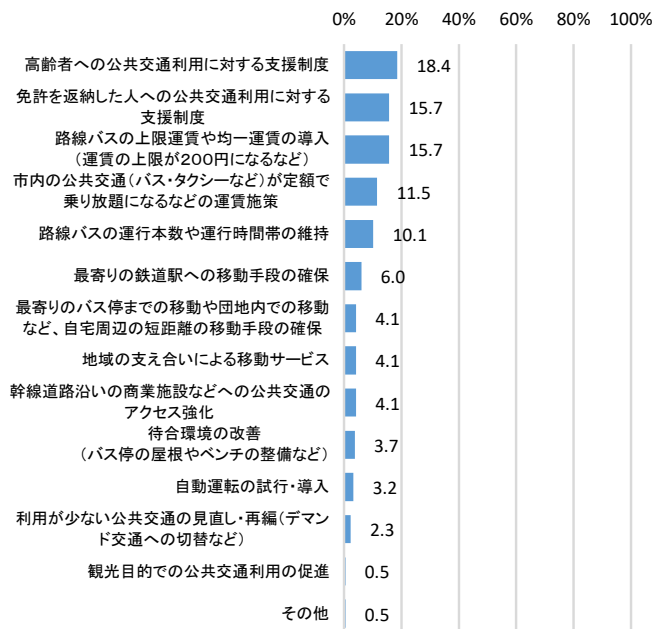


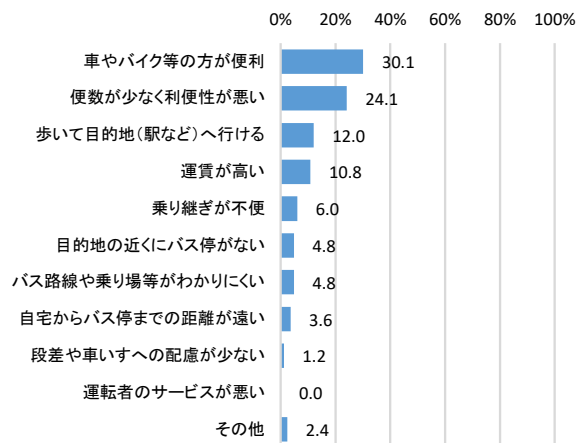
図 3-24 加賀田小学校区のバスを利用しない理由、重要と考える公共交通施策

サ) 石仏小学校区

石仏小学校区の「バスを利用しない理由」は「車やバイク等の方が便利」が最も多く、次いで「便数が少なく利便性が悪い」となっています。

「重要と考える公共交通施策」は「高齢者への公共交通利用に対する支援制度」「免許を返納した人への公共交通利用に対する支援制度」「市内の公共交通（バス・タクシーなど）が定額で乗り放題になるなどの運賃施策」が多くなっています。

○バスを利用しない理由



○重要と考える公共交通施策

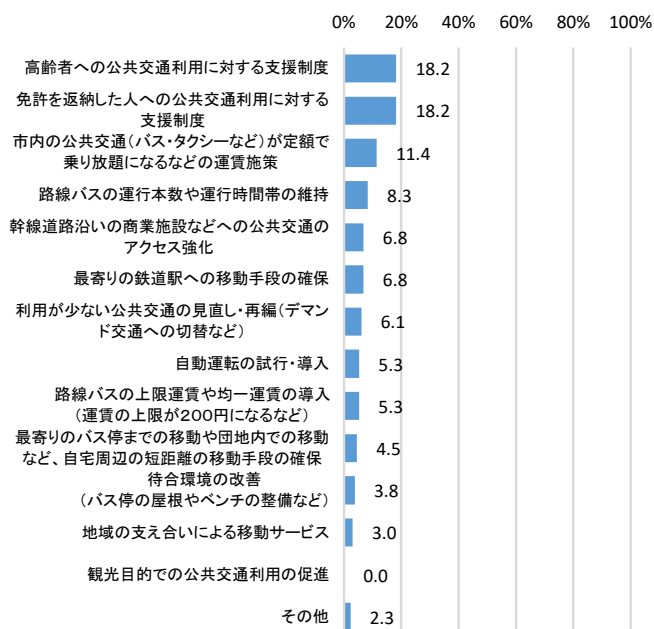


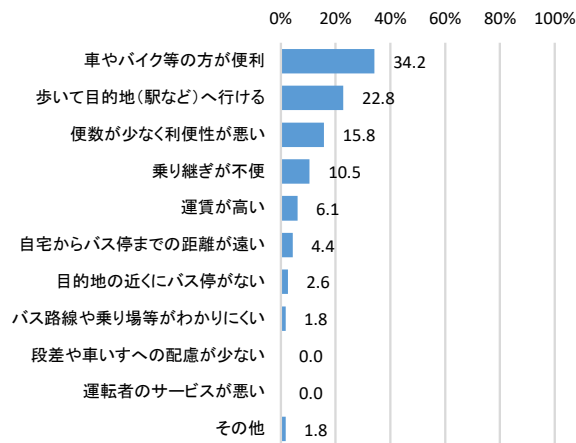
図 3-25 石仏小学校区のバスを利用しない理由、重要と考える公共交通施策

シ) 美加の台小学校区

美加の台小学校区の「バスを利用しない理由」は「車やバイク等の方が便利」が最も多く、次いで「歩いて目的地（駅など）へ行ける」となっています。

「重要と考える公共交通施策」は「高齢者への公共交通利用に対する支援制度」「免許を返納した人への公共交通利用に対する支援制度」「市内の公共交通（バス・タクシーなど）が定額で乗り放題になるなどの運賃施策」が多くなっています。

○バスを利用しない理由



○重要と考える公共交通施策

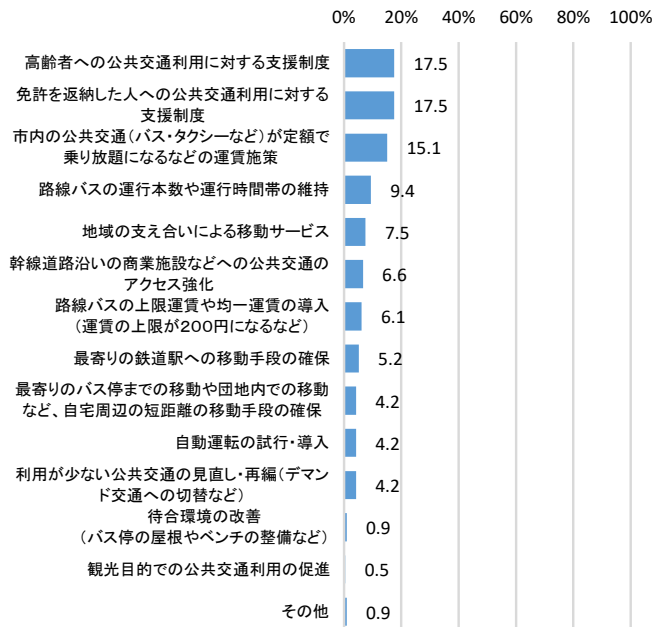


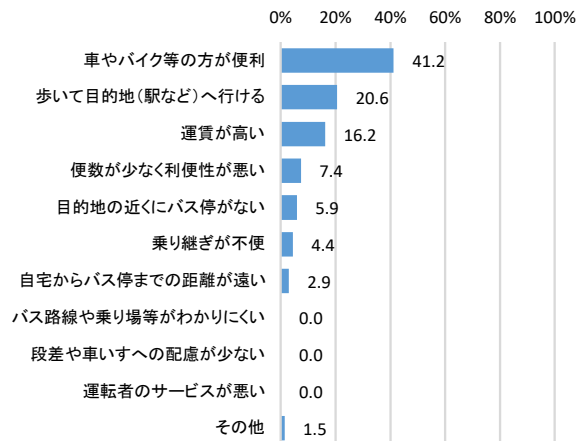
図 3-26 美加の台小学校区のバスを利用しない理由、重要と考える公共交通施策

ス) 南花台小学校区

南花台小学校区の「バスを利用しない理由」は「車やバイク等の方が便利」が最も多く、次いで「歩いて目的地（駅など）へ行ける」となっています。

「重要と考える公共交通施策」は「高齢者への公共交通利用に対する支援制度」「免許を返納した人への公共交通利用に対する支援制度」「路線バスの運行本数や運行時間帯の維持」が多くなっています。

○バスを利用しない理由



○重要と考える公共交通施策

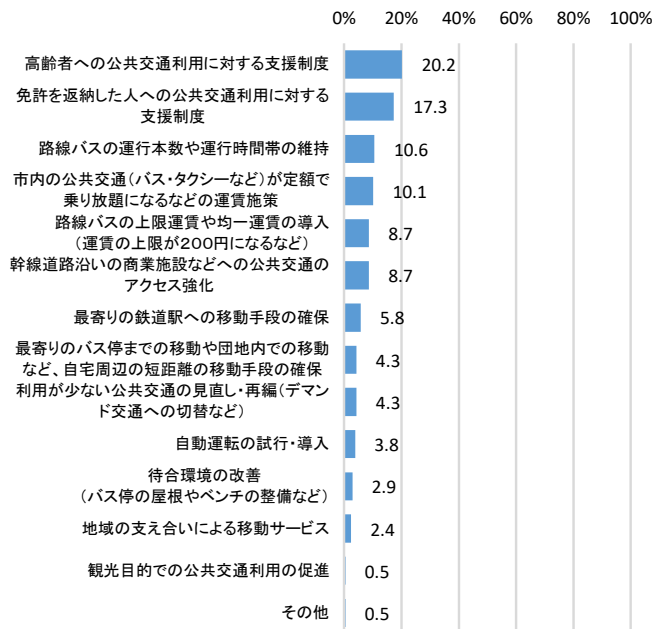
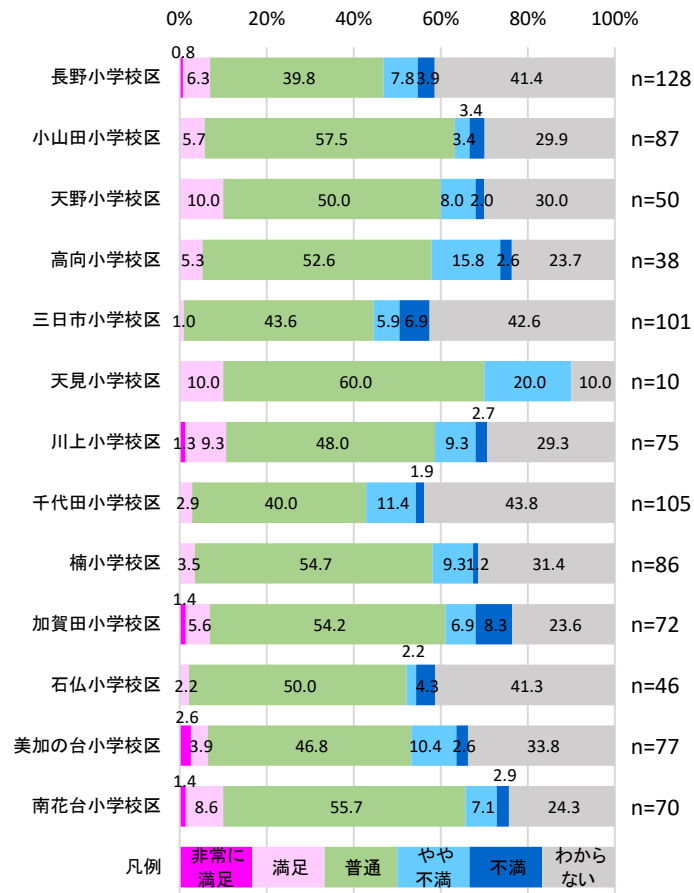


図 3-27 南花台小学校区のバスを利用しない理由、重要と考える公共交通施策

(4) 市民同士の連携や市民と行政の協働

市民同士の連携や市民と行政の協働は、全体的に「非常に満足」「満足」は少数で、「普通」「わからない」が多くなっています。



資料: 令和3年度 河内長野市市政アンケート調査

図 3-28 市民同士の連携や市民と行政の協働の満足度

(参考) アンケート調査票

令和3年度 河内長野市市政アンケート調査のお願い

日頃は何かと市政の推進にご協力いただきありがとうございます。
河内長野市では、住みよい河内長野市の実現をめざして日々、行政を推進しているところですが、市民のみなさんの率直なご意見をお聴きし、各種施策をすすめるうえでの参考資料とするため、市政アンケート調査を定期的に実施しています。
今年は、テーマく生活状況や男女共同参画、公共交通利用に関する意識調査>を中心に調査を行うこととしました。
みなさんのご意見は、計画策定などの参考とさせていただきますので、ぜひ、あなたの河内長野市についての率直なお考えをお聞かせください。
お忙しいことは存じますが、アンケートの趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和3年9月

河内長野市長

〇このアンケートは、18歳以上の市民の中から無作為に2,000人の方々を選び、郵送でアンケート票をお送りしています。

〇このアンケートには、ご本人による記入が難しい場合を除き、封筒のあて名の方がご自身でご記入ください。

〇回答内容は、統計的に処理し、調査の目的以外に利用することはありません。

〇アンケート結果の概要は、後日、市ホームページなどを通じてお知らせします。

〇ご記入いただいたアンケート票は、無記名のまま、10月4日(月)までに同封の返信用封筒に入れてお送りください。(切手を貼る必要はありません。)

【お問い合わせ先】

このアンケートについてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

河内長野市役所

設問 9～14 → 福祉部 生活福祉課 (内線 385)
設問 15～26 → 総合政策部 人権推進課 (内線 558)
設問 27～44 → 都市づくり部 都市計画課 (内線 540)
上記以外の設問 → 総合政策部 政策企画課 (内線 341)

(代表電話番号) 0721-53-1111

(ファックス) 0721-55-1435

(メール) kikaku@city.kawachinagano.lg.jp



令和3年度 河内長野市市政アンケート 調査票

まず、回答していただくあなたご自身についてお答えをお願いします。

A 性別をおたずねします。(自認する性別の番号に○は1つだけ)

1. 男性 2. 女性 3. 答えたくない

B 年齢をおたずねします。() 内に数字を記載してください。

満 () 歳

C あなたの家族構成はどれですか。(○は1つだけ)

1. 単身 (ひとりぐらし) 世帯 2. 夫婦のみ世帯 3. 親子2世代世帯
4. 親子孫3世代世帯 5. その他 (具体的に:)

D あなたは、どのくらいの期間、河内長野市にお住まいですか。(○は1つだけ)

1. 1年未満 2. 1年～5年未満 3. 5年～10年未満
4. 10年～15年未満 5. 15年～20年未満 6. 20年～30年未満
7. 30年以上

E あなたは、現在どこ (小学校区) に住んでいますか。(○は1つだけ)

1. 長野小学校区 2. 小山田小学校区 3. 天野小学校区
4. 高向小学校区 5. 三日月小学校区 6. 天見小学校区
7. 川上小学校区 8. 千代田小学校区 9. 梶小学校区
10. 加賀田小学校区 11. 石山小学校区 12. 美加の台小学校区
13. 南花台小学校区 14. わからない (住所は:)

F あなたは、現在のお住まいに来る以前はどこに住んでいましたか。(○は1つだけ)

1. ずっと現在のところに住んでいる 2. 現在地以外の河内長野市内
3. 河内長野市以外の南河内地域*1 4. 堺市
5. 大阪市 6. その他の大阪府
7. 和歌山県 8. 奈良県
9. その他の都道府県または外国 (具体的に:)

*1: 富田本市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大坂狭山市、太子町、河南町、千早赤坂村

G あなたの職業は何ですか。(○は1つだけ)

1. 会社員・公務員 2. 自営業
3. 自由業 (医師、弁護士など専門的職業) 4. パート・アルバイト
5. 家事専業 6. 学生
7. 無職
8. 派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない
9. その他 (具体的に:)

河内長野市での定住意向についておうえかがいします。

問1 あなたは、これからも河内長野市に住みつづけたいと思いますか。(Oは1つだけ)

1. すっと今の場所に住みつづけたい)
 2. 河内長野市内で転居したい(転居したい地域:) →問2へお進みください
 3. 1. 2. のどちらともいえないが河内長野市には住みつづけた)
 4. 時に住みつづけたわけではないが、今のところ住みつづけるつもり) →問4へお進みください
 5. いずれ市外に移りたい(移りたい都市・地域名:)
 6. すぐに市外に移りたい(移りたい都市・地域名:) →問3へお進みください
 7. 何ともいえない) →問4へお進みください

問1で「1. すっと今の場所に住みつづけた」「2. 河内長野市内で転居したい」
 「3. 1. 2. のどちらともいえないが河内長野市には住みつづけた」と答えた
 方におたずねします。

問2 住みつづけた理由は何か。(Oは2つまで)

1. 生まれ育ったまちだから 2. 住みなれたまちだから
 3. 親せきや知人がいるから 4. 近所づきあいがしやすいから
 5. 自然環境がよいから 6. 田舎の良さが残っているから
 7. 魅力ある歴史・文化があるから 8. 教育環境がよいから
 9. 買い物に便利だから 10. 通勤・通学に便利だから
 11. 医療環境がよいから 12. レジャー・娯楽施設が多いから
 13. 福祉サービスが整っているから 14. 働く場所としての魅力が多いから
 15. 今後発展すると思うから 16. その他(具体的に:)

問1で「5. いずれ市外に移りたい」「6. すぐに市外に移りたい」と答えた方におたずねし
 ます。

問3 市外に移りたい理由は何ですか。(Oは2つまで)

1. 市内で住みかえたいが、希望に合う 2. 転勤等仕事の関係で
 住居がないから
 3. 生活環境が悪いから 4. 人間関係がよくないから
 5. 買い物など日常生活に不便だから 6. 通勤・通学に不便だから
 7. 子どもの教育の関係で 8. その他(具体的に:)

すべての方におたずねします。

問4 これからも河内長野市に住みつづけるためには、どんなことが必要だと思いますか。

(Oは2つまで)

1. 一戸建てや賃貸住宅など、ニーズに 2. 市内で働ける場所の充実
 あった住環境の充実
 3. 身近な緑など自然環境の充実 4. 歴史・文化を感じられる地域づくりの
 充実
 5. 隣近所など地域との良好な人間関係 6. 買い物などの日常生活の便利さの充実
 7. 通勤・通学などの交通環境の充実 8. 子どもの教育環境の充実
 9. 老後も安心して暮らせる福祉サービス 10. その他
 の充実 (具体的に:)

河内長野市の取組についておうえかがいします。

問5 次の1から41の各項目について、①現在の生活の中でどの程度満足していますか。また、
 ②今後に向けてどの程度重要だと思いますか。各項目の①および②のそれぞれについて、あ
 なたのお考えに最も近い番号に○をつけてください。(①、②それぞれについてOは1つだけ)

項 目	①現在の満足度					②今後の重要度				
	非 常に 満足	やや 満足	普通	やや 不満	不 満	非 常に 重要	やや 重要	普通	やや 重要でない	重 要でない
安全・安心	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1. 防災	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 消防・救急	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 防犯	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 交通安全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 消費行政	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 地域の支え合い	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 高齢者にととの暮らしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. 障がい者にととの暮らしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. 社会保障制度	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10. 健康づくりを進める取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11. 児童に対する福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12. 子育てのしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13. 小中学校の教育環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14. 青少年の健全な育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15. 各種講座や施設など生涯学習の環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16. 文化芸術活動などの取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17. 歴史文化遺産の保存・活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18. スポーツ施設や活動などの環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19. 人権の尊重と平和意識の高揚	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20. 男女共同参画の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
21. 国際交流や多文化共生社会の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
22. 自然環境への配慮	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
23. リサイクル機密など循環型社会への取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
24. 騒音・悪臭などの少なさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25. まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
26. 市街地の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27. 住環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
28. 公園や緑地などの整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
29. 道路や橋などの交通網	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
30. バスなどの公共交通サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
31. 上下水道	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

(つづき)

項 目	①現在の満足度		②今後の重要度	
	非常に満足	やや満足	やや不満	非常に不満
産業	1	2	3	4
	5	6	1	2
	3	4	5	6
	1	2	3	4
協働・行政	1	2	3	4
	5	6	1	2
	3	4	5	6
	1	2	3	4
企業	1	2	3	4
	5	6	1	2
	3	4	5	6
	1	2	3	4
地域	1	2	3	4
	5	6	1	2
	3	4	5	6
	1	2	3	4

問5の①現在の満足度で、「4. やや不満」「5. 不満」と答えた方におたずねします。

問6 特に不満を感じられている項目の番号を2つまで選んで、それぞれについて不満を感じる理由を記入してください。

【項目の番号】	左の項目が「4. やや不満」「5. 不満」と感じる理由

すべての方におたずねします。

問7 あなたは、この1年で市内の「地域活動やまちづくり活動」*1にどの程度参加されましたか。(○は1つだけ)

*1:「地域活動やまちづくりの活動」とは、自治会、町内会、PTA、教養、青少年育成、環境、美化、福祉など、有償・無償を問わず、幅広い活動のことを言います。

1. 週に2～3回以上	2. 週に1回程度
3. 月に1回程度	4. 年に数回程度
5. 年に1回程度	6. ほとんどない

問8 次の1から3の項目について、どのように感じていますか。各項目について、あなたの考えに最も近い番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

項 目	非常に感じる	やや感じる	少し感じる	あまり感じない	ほとんど感じない
1. 地域のまちづくり活動が充実していると感じている	1	2	3	4	5
2. 河内長野市に住みづづけていたいと感じている	1	2	3	4	5
3. 河内長野市に愛着と誇りを感じている	1	2	3	4	5

あなたの生活状況についておうかがいします。

問9 あなたは、ふだんどのくらい外出しますか。(○は1つだけ)

1. 仕事や学校で平日は毎日外出する	→問15へお進みください。
2. 仕事や学校で週に3～4日外出する	
3. 他人と関わる活動(遊びや人づきあいなど)のときは外出する	
4. ふだんは家にいるが、他人と関わらない活動(自分の趣味に関する用事など)のときだけ外出する	
5. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	→問10～14へお進みください。
6. 自宅からは出るが、家からは出ない	
7. 自宅からほとんど出ない	

問9で「4. ふだんは家にいるが、他人と関わらない活動(自分の趣味に関する用事など)のときだけ外出する」「5. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」「6. 自宅からは出るが、家からは出ない」「7. 自宅からほとんど出ない」と答えた方におたずねします。

問10 あなたが現在の状態になってどのくらい経ちますか。(○は1つだけ)

1. 6ヶ月未満	2. 6ヶ月～1年	3. 1年～3年	4. 3年～5年
5. 5年～7年	6. 7年～10年	7. 10年以上	

問11 あなたが、現在の状態になったきっかけは何ですか。(○は1つだけ)

1. 小学生時の不登校
2. 中学生時の不登校
3. 高校生時の不登校
4. 大学生(専門高校生、短期大学生を含む)時等の不登校
5. 受験に失敗したこと(高校・大学等)
6. 就職活動がうまくいかなかったこと
7. 転職になじめなかったこと
8. 人間関係がうまくいかなかったこと
9. 病気(病名:)
10. 妊娠したこと
11. 退職したこと
12. 介護・看護を担うことになったこと
13. 新型コロナウイルス感染症の影響
14. その他(具体的に:)
15. わからない
16. 特になし

問12 あなたは、最近6ヶ月間に家族以外の人と会話ししましたか。(○は1つだけ)

1. よく会話しただ	2. ときどき会話しただ
3. ほとんど会話しなかった	4. まったく会話しなかった

問 13 あなたは、次のような相談機関等に相談したことはありますか。(○はいくつでも)

1. 子ども・子育て総合センターあいく (ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関
2. 公共職業安定所 (ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関
3. 精神保健福祉センター (こころの健康総合センター)
4. 発達障害いりき支援センター (アクトおおさか)
5. 保健所・子ども家庭センター
6. 病院・診療所
7. ひきこもり地域支援センター
8. 生活困窮者向けの相談窓口
9. 地域包括支援センター
10. 当事者の会・家族会
11. 社会福祉協議会
12. その他の施設・機関 (具体的に：)
13. 上記以外の民間の相談機関・支援機関 (NPO 等)
14. 相談したことはない

問 14 あなたの現在の状態について、相談するとすれば、どのような相談機関なら相談したいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 無料で相談できる
2. 親身に聴いてくれる
3. 精神科医がいる
4. 匿名で相談できる
5. 医学的な助言をくれる
6. 心理学の専門家がいます
7. 自宅から近い
8. 同じ悩みを持つ人と出会える
9. 自宅に専門家が来てくれる
10. 公共機関の人や医療の専門家ではない民間団体 (NPO など)
11. あてはまるものはない
12. どのような機関にも相談したくない

男女共同参画についておうかがいします。

問 15 次の 1 から 8 の項目について、男女の地位は平等になっているかと思いませんか。各項目について、あなたの考えに最も近い番号に○をつけてください。

(それぞれについて○は1つだけ)

項 目	男性のほうに偏っている	男性のほうに偏っているが非常に偏っている	平等である	女性のほうに偏っている	女性のほうに偏っているが非常に偏っている	わからない
1. 家庭生活	1	2	3	4	5	6
2. 職場	1	2	3	4	5	6
3. 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
4. 自治会・NPO などの地域活動の場	1	2	3	4	5	6
5. 政治の場	1	2	3	4	5	6
6. 法律や制度	1	2	3	4	5	6
7. 社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6
8. 社会全体でみたとき	1	2	3	4	5	6

問 16 次の 1 から 6 の項目のような考えに対して、どのように思いますか。各項目について、あなたの考えに最も近い番号に○をつけてください。(それぞれについて○は1つだけ)

項 目	その通り	その通りかといえ	その通りかわからない	その通りかといえ	その通りかわからない	その通りではない
1. 天は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4		
2. 結婚は、個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4		
3. 結婚しても必ずしも子どもを必要はない	1	2	3	4		
4. 結婚してもうまくいかなかったときは離婚すればよい	1	2	3	4		
5. 希望する夫婦は別々の姓を名乗っても構わない	1	2	3	4		
6. 男性の子育て・介護への参画が以前より進んでいる	1	2	3	4		

問 17 あなたは、次の言葉のうち、見たり聞いたりしたものがありますか。(○はいくつでも)

1. 男女共同参画社会
2. 河内長野市男女共同参画推進条例
3. ポジティブ・アクション (積極的改善措置)
4. ジェンダー (社会的性別)
5. ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)
6. DV (ドメスティック・バイオレンス) *1
7. team あごら
8. その他 (具体的に：)
9. 見たり聞いたりしたものはない

*1：DV (ドメスティック・バイオレンス)とは、配偶者や恋人など親しい人間関係の中で起こる暴力のことをいいます。暴力には身体的暴力だけでなく、精神的暴力、社会的暴力、経済的暴力、性的暴力なども含まれます。

問 18 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(○は1つだけ)

1. 女性は職業をもたないほうがよい
2. 結婚するまでは、職業をもつほうがよい
3. 子どもができるまでは、職業をもつほうがよい
4. 子どもができて、子どもと職業をもち続けるほうがよい
5. 子どもができた後、職業をやめ、大きくくついたら再び職業をもつほうがよい
6. その他 (具体的に：)
7. わからない

問 19 生活の中における「仕事*1」「家庭生活*2」「地域・個人の生活*3」の優先度について、
あなたの理想の生活、理想の生活に最も近い番号に○をつけてください。
(それぞれについて○は1つだけ)

項 目	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「地域・個人の生活」を優先	「仕事」と「家庭生活」をともに優先	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	「仕事」と「地域・個人の生活」と「家庭生活」をともに優先
1. 現実の生活	1	2	3	4	5	6	7
2. 理想の生活	1	2	3	4	5	6	7

*1：「仕事」とは、自営業主、家族従業者、雇用者として、週1時間以上働いていることを言います。就業形態は問いません。
*2：「家庭生活」とは、夜晩と過ごすこと、夜晩、育児、介護・看護などを含みます。
*3：「地域・個人の生活」とは、地域・社会活動（ボランティア活動、社会参加活動、交際・つき合いなど）、学習・研究（学業も含む）、趣味・娯楽などを言います。

問 20 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくために、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすること
2. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすること
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
4. 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること
5. 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること
6. 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多くもてるようにすること
7. 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと
8. 国や地方自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること
9. 男性が子育てや介護、地域活動を行うための、仲間（ネットワーク）作りをすすめること
10. 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること
11. その他（具体的に： ）
12. 特に必要なことはいない

問 21 あなたは、夫婦や恋人同士で起こる次のような行為は「暴力」だと思いますか。
(○はいくつでも)

1. 平手で打つ
2. 足で蹴る
3. 殴るふりをして脅す
4. いやがっているのに性的な行為を強要する
5. 見たくないのに、ポルノ映像やポルノ雑誌を見せる
6. 何を言っても無視し続ける
7. 交友関係や電話を細かく監視する
8. 「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「かいしようなし」などと言う
9. 生活費を渡さない
10. 大声でどなる
11. 子どもが上記 1～10 のような行為を見聞きする

問 22 あなたはこれまでに、あなたの配偶者や親しいパートナー（恋人等）から次のようなことをされたことがありますか。(それぞれについて○は1つだけ)

項 目	同意 ある	1. 2. 度 あ た	ま だ く な い
1. 殴る、蹴る、刃物を突きつけられ脅される、殴るふりをして脅されるなど（身体的暴力）	1	2	3
2. 「誰のおかげで生活できるんだ」「かいしようなし」などと言われる、無視される、大声でどなられるなど（精神的暴力）	1	2	3
3. 生活費を渡さない（経済的暴力）	1	2	3
4. 友人に会うことや実家に行くことを制限されたり、監視されるなど（社会的暴力）	1	2	3
5. 性行為の強要、避妊に協力しない、ポルノ映像や雑誌を見せられるなど（性的暴力）	1	2	3
6. 1～5の行為を子どもに見せる（児童虐待）	1	2	3

問 23 あなたは、DV（ドメスティック・バイオレンス）の相談窓口としてどのようなものを知っていますか。(○はいくつでも)

1. 警察
2. 人材相談員、民生児童委員
3. 配偶者暴力相談支援センター
4. 男女共同参画センターなどの市の相談窓口
5. その他の公的機関
6. 民間の機関（弁護士会やカウンセリング機関、民間シェルター*1など）
7. 医療関係者
8. その他（具体的に： ）

*1：「民間シェルター」とは、民間団体によって運営されている暴力を受けた被害者が緊急一時的に避難できる施設です。居住場所や食事等を提供し、様々な相談に応じるなど、被害者に対する援助を行っています。

問 24 あなたは、男女間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと考えますか。(○はいくつでも)

1. 家庭で子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う
2. 学校で生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う
3. 地域で、暴力を防止するためのイベントなどを行う
4. メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う
5. 被害者が早期に相談できるよう、相談窓口を増やす
6. 加害者に対し、教育を行う
7. 加害者への罰則を強化する
8. 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピュータソフトなど）を取り締まる
9. その他（具体的に：)
10. 特になし

問25 あなたは、「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことの方
を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 子どものときから、学校などで、男女平等意識を育成する指導を行う
2. 法律や制度の面で見直しを行う
3. 国・地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する
4. 民間企業・団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する
5. 女性や男性の生き方や働き方に関する相談の場を充実させる、または提供する
6. 従来、女性が少なかった分野（研究者等）への女性の進出を支援する
7. 保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させる
8. 男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実させる
9. 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める
10. 子育てでや介護でもっとも仕事が続けられるよう支援する
11. 子育てでや介護等といった仕事を辞めた人の再就職を支援する
12. 男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRする
13. 各メディアの性・暴力表現の規制
14. その他（具体的に：)
15. 特になし
16. わからない

問 26 男女共同参画社会の実現にあたってご意見・ご感想がありましたら、ご自由にお書きください。

あなたが利用する交通手段についておうえんします。

問27 あなたは、自動車運転免許を持っていますか。(○は1つだけ)

1. 持っている
2. 持っていない
3. 持っているが、運転しない・できない
4. 持っていたが返納した

問 28 あなたは、自動車を持っていますか。(○は1つだけ)

1. 自分で自由に使える自動車を持っている	
2. 世帯所有の自動車を使っている	
3. 自分で運転できないが、世帯で自動車を持っており送迎可能である	
4. 持っていない	

問29 あなたの最寄りの鉄道駅はどこですか。また、自宅から最寄りの鉄道駅までの主な交通手段と所要時間を教えてください。(駅名と所要時間を記入し、主な交通手段は1つだけ選択)

電車の所要時間	約【 】分
駅までの主な交通手段 (Oは1つだけ)	1. バス 2. 自動車 3. バイク 4. 自転車 5. 徒歩 6. タクシー 7. その他(具体的に)
電車の駅名	【 】駅

問30 あなたの最寄りのバス停留所はどこですか。また、その停留所からの自宅までの所要時間は何分ぐらいですか。(○は1つだけ選択し、1を答えた方は停留所名と所要時間を書記入)

1. 【 】 停留所まで徒歩で約【 】分
2. 最寄りのバス停留所まで、徒歩ではいけない距離にある
3. わからない

問31 あなたはスマートフォンを持っていますか。また、スマートフォンを持っている場合、公共交通の路線検索などに利用しますか。(Qは1つだけ)

1. スマートフォンを持っており、公共交通の経路検索などに利用している
2. スマートフォンを持っているが、公共交通の経路検索などには利用しない
3. スマートフォンは持っていない

あなたの普段の外出状況についておうかがいします。

問 32 日常生活での主な外出について、通勤・通学、通院、日常の買い物など、外出の目的別に、「頻度」「主な行き先」「主な交通手段」について、どのような状況ですか。また、「主な時間帯」については、外出する際の「行き」及び「帰り」の時間帯をご記入ください。

(例：通勤のため、朝7時頃の電車に乗っている場合→行き(午前) 帰り(午後) 時間帯(7時頃))

目 的	1. 頻度 (○は1つだけ)	2. 主な行き先 (○は1つだけ)	3. 主な交通手段 (○はいくつでも)	4. 主な 時間帯 (時間をご記入)
A. 通勤・通学	1. 週に6日以上 2. 週に4～5日 3. 週に2～3日 4. 週に1日 5. 月に2～3日 6. 月に1日以下 7. 通勤・通学で 外出しない ※7の場合、右の行き先 等は回答不要です。	1. 千代田駅周辺 2. 河内長野駅周辺 3. 三日月駅周辺 4. 市役所・キックス周辺 5. 消防本部周辺・奥河内 くろまろの駅周辺 6. 商花台地駅周辺 7. 河内長野市内のその他 の地域 8. 他市区町村 (市町村名：)	1. 鉄道 2. バス 3. 自動車(運転) 4. 自動車(同乗) 5. バイク 6. 自転車 7. 徒歩 8. タクシー 9. その他 (具体的に：)	行き 午前・午後 ()時頃 帰り 午前・午後 ()時頃
B. 通院	1. 週に6日以上 2. 週に4～5日 3. 週に2～3日 4. 週に1日 5. 月に2～3日 6. 月に1日以下 7. 通院で外出 しない ※7の場合、右の行き先 等は回答不要です。	1. 千代田駅周辺 2. 河内長野駅周辺 3. 三日月駅周辺 4. 市役所・キックス周辺 5. 消防本部周辺・奥河内 くろまろの駅周辺 6. 商花台地駅周辺 7. 河内長野市内のその他 の地域 8. 他市区町村 (市町村名：)	1. 鉄道 2. バス 3. 自動車(運転) 4. 自動車(同乗) 5. バイク 6. 自転車 7. 徒歩 8. タクシー 9. その他 (具体的に：)	行き 午前・午後 ()時頃 帰り 午前・午後 ()時頃
C. 日常の買い物	1. 週に6日以上 2. 週に4～5日 3. 週に2～3日 4. 週に1日 5. 月に2～3日 6. 月に1日以下 7. 買い物で外出 しない ※7の場合、右の行き先 等は回答不要です。	1. 千代田駅周辺 2. 河内長野駅周辺 3. 三日月駅周辺 4. 市役所・キックス周辺 5. 消防本部周辺・奥河内 くろまろの駅周辺 6. 商花台地駅周辺 7. 河内長野市内のその他 の地域 8. 他市区町村 (市町村名：)	1. 鉄道 2. バス 3. 自動車(運転) 4. 自動車(同乗) 5. バイク 6. 自転車 7. 徒歩 8. タクシー 9. その他 (具体的に：)	行き 午前・午後 ()時頃 帰り 午前・午後 ()時頃
D. その他の外出	目的(具体的に：) 1. 週に6日以上 2. 週に4～5日 3. 週に2～3日 4. 週に1日 5. 月に2～3日 6. 月に1日以下	1. 千代田駅周辺 2. 河内長野駅周辺 3. 三日月駅周辺 4. 市役所・キックス周辺 5. 消防本部周辺・奥河内 くろまろの駅周辺 6. 商花台地駅周辺 7. 河内長野市内のその他 の地域 8. 他市区町村 (市町村名：)	1. 鉄道 2. バス 3. 自動車(運転) 4. 自動車(同乗) 5. バイク 6. 自転車 7. 徒歩 8. タクシー 9. その他 (具体的に：)	行き 午前・午後 ()時頃 帰り 午前・午後 ()時頃

外出時のコロナによる影響についておうかがいします。

問 33 コロナ前と現在と比較して、A. 外出頻度、B. 交通手段の利用頻度をお教えてください。
また、今後、新型コロナウイルス感染症の収束後、それぞれの頻度はどうなると思
いますか。(下段の「選択肢」から番号を選んで空欄に記入)

A. 外出頻度	1. コロナ前	2. 現在	3. 収束後
い、鉄 道	1. コロナ前	2. 現在	3. 収束後
ろ、バ ス	1. コロナ前	2. 現在	3. 収束後
は、自動車(運転)	1. コロナ前	2. 現在	3. 収束後
に、自動車(同乗)	1. コロナ前	2. 現在	3. 収束後
ほ、バイク	1. コロナ前	2. 現在	3. 収束後
へ、自転車	1. コロナ前	2. 現在	3. 収束後
と、徒 歩	1. コロナ前	2. 現在	3. 収束後
ち、タクシー	1. コロナ前	2. 現在	3. 収束後
り、その他(具体的に：)	1. コロナ前	2. 現在	3. 収束後

B. 交通手段の利用頻度	1. コロナ前	2. 現在	3. 収束後
い、鉄 道	1. コロナ前	2. 現在	3. 収束後
ろ、バ ス	1. コロナ前	2. 現在	3. 収束後
は、自動車(運転)	1. コロナ前	2. 現在	3. 収束後
に、自動車(同乗)	1. コロナ前	2. 現在	3. 収束後
ほ、バイク	1. コロナ前	2. 現在	3. 収束後
へ、自転車	1. コロナ前	2. 現在	3. 収束後
と、徒 歩	1. コロナ前	2. 現在	3. 収束後
ち、タクシー	1. コロナ前	2. 現在	3. 収束後
り、その他(具体的に：)	1. コロナ前	2. 現在	3. 収束後

選択肢	1. 週に6日以上	2. 週に4～5日	3. 週に2～3日	4. 週に1日
5. 月に2～3日	6. 月に1日以下	7. 利用しない		

市内でのバス・タクシーの利用についておうかがいします。

問 34 あなたは、ふだんバスを利用していますか。(○は1つだけ)
1. 利用している → 問35へお進みください
2. 利用していない → 問36へお進みください

問34で「1. 利用している」と答えられた方におたずねします。

問35 あなたがバスを利用している理由は何ですか。
(理由として大きいものから順に下段の中から3つまで番号を選んで空欄に記入)

1番目	2番目	3番目
-----	-----	-----

1. 行きたい場所までルートがある
2. 利用したい時間に運行している
3. 最も早い交通手段である
4. 運賃が安い
5. バス以外に交通手段がない
6. 車又は免許を有していない
7. バス利用を学校・会社が指定している
8. 自宅近くにバス停がある
9. 家族に送迎してもらおう気兼ねがない
10. 車の運転に不安がある
11. エコな交通手段である
12. 安全・安心である
13. 楽に移動できる
14. 悪天候の時や飲酒した時に便利
15. その他(具体的に:)

問34で「2. 利用していない」と答えられた方におたずねします。

問36 あなたがバスを利用していない理由は何ですか。
(理由として大きいものから順に下段の中から3つまで番号を選んで空欄に記入)

1番目	2番目	3番目
-----	-----	-----

1. 歩いて目的地(駅など)へ行ける
2. 車やバイク等の方が便利
3. 自宅からバス停までの距離が遠い
4. 目的地の近くにバス停がない
5. 便数が少なく利便性が悪い
6. 運賃が高い
7. バス路線(どのバスに乗れば目的地へ行けるのか)や乗り場等がわかりにくい
8. 段差や車いすへの配慮が少な
9. 運転者のサービスが悪い
10. 乗り騒ぎが不便
11. その他(具体的に:)

すべての方におたずねします。

問37 あなたは、ふだんタクシーを利用していますか。(○は1つだけ)

1. 利用している → 問38へお進みください	2. 利用していない → 問39へお進みください
-------------------------	--------------------------

問37で「1. 利用している」と答えられた方におたずねします。

問38 あなたがタクシーを利用している理由は何ですか。
(理由として大きいものから順に下段の中から3つまで番号を選んで空欄に記入)

1番目	2番目	3番目
-----	-----	-----

1. バスのない時間帯に利用できる
2. 最も早い交通手段である
3. 楽に移動できる
4. 複数人での移動に便利
5. タクシー以外に交通手段がない
6. 車又は免許を有していない
7. 家族に送迎してもらおう気兼ねがない
8. 車の運転に不安がある
9. 安全・安心である
10. 悪天候の時や飲酒した時に便利
11. その他(具体的に:)

問37で「2. 利用していない」と答えられた方におたずねします。

問39 あなたがタクシーを利用していない理由は何ですか。
(理由として大きいものから順に下段の中から3つまで番号を選んで空欄に記入)

1番目	2番目	3番目
-----	-----	-----

1. 歩いて目的地(駅など)へ行ける
2. 車やバイク等の方が便利
3. タクシーを呼ぶのが面倒
4. 経済的な負担が大き
5. 利用の仕方がわかりにくい
6. 安全性に不安がある
7. 段差や車いすへの配慮が少ない
8. 運転者のサービスが悪い
9. その他(具体的に:)

地域の公共交通に関する意向やあり方についておたずねします。

ー地域の支え合いによる移動サービスについてー

バスやタクシーなどの公共交通は、かねてからの利用者減少・コロナの影響による経営状況悪化・ドライバー不足など様々な問題に直面しており、市の財政も厳しくなる中で、今後、維持がますます厳しくなることが予想されます。一方で、高齢化が進む地域では従来よりもきめ細やかな移動サービスが求められており、こうした状況から、近年、公共交通の維持が困難な地域や地域内の短距離の移動において、地域の住民が運転手を担う、地域の支え合いによる移動サービスが注目されています。

問40 あなたは、このような移動サービスが必要だと思いますか。(○は1つだけ)

1. 必要だと認	2. 必要だと認わない	3. わからない
----------	-------------	----------

問41 あなたは、このような移動サービスがあれば利用しようと思いますか。

(○は1つだけ)

1. 利用しようと思	→ 問43へお進みください
2. 利用しようと思わない	→ 問42へお進みください

問41で「2. 利用しようと思わない」と答えられた方におたずねします。

問42 あなたが、このような移動サービスを利用しようと思わない理由は何ですか。
(○はいくつでも)

1. 気兼ねする	2. 安全面で不安がある
3. 行き先を知られるのが嫌だ	4. その他(具体的に:)

問 43 あなたは、このような移動サービスについて、どの程度協力することができますか。(〇はいくつでも)

- 公共交通施策などについておうかがいします。

(重要であると考えられるものから順に下段の中から番号を選んで空欄に記入)

1 番目	2 番目	3 番目

- ～以上、ご協力ありがとうございました～

ご記入いただいた調査票は、無記名のまま同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、
10月4日（月）までにご投函ください。